注3

大学番号:国026

[平成27年度設置]

計画の区分: 研究科の専攻の設置又は課程の変更

事前伺い

注1

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東京農工大学 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 総務部総務課

マエダア ミ 職名・氏名 法規係長 前田亜美

電話番号 042-367-5505

(夜間) 042-367-5505

F A X 042-367-5553

e — mail houki@ml.tuat.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生物システム	人がほ	日科	学	付
エルルノハノ	<u> </u>	コココ	-	L

<食	食料エネルギーシステム科学専攻(一貫制博士課程)>			^ °−	-ジ
1.	. 調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・	• •		• • •	1
2.	. 授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・	• •		• • •	5
3.	. 施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・	• •		• • •	18
4.	. AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・	• •		• • •	19
5.	. 教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・	• •		• • •	22
6.	. 留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・	• •		• • •	36
7.	. その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・	• •	• • •	• • •	38
< 另	別添資料>				
資料	料1 東京農工大学グローバル教育院運営規則 ・・・				40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 東京農工大学

- (2) 大 学 名 東京農工大学
- (3) 大学の位置

〒184-8588: 東京都小金井市中町二丁目24番16号 (〒183-8538: 東京都府中市晴見町三丁目8番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長			
学長	(マツナガ タダシ) 松永 是 (平成23年4月)	(オオノ ヒロユキ) 大野 弘幸 (平成29年4月)	任期満了による学長の交代の ため(29)
学 府 長	(カミヤ ヒデヒロ) 神谷 秀博 (平成25年4月)		
専攻長	(サトウ リョウイチ) 佐藤 令一 (平成27年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けて</u>ください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の計画	Ī	備考
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	VIRI 25
生物システム応用科学府	農学関係	年	Α	Y	基礎となる学部等
食料エネルギーシステム科学専攻	工学関係	5	10	50	農学部 工学部
(一貫制博士課程) 博士 (農学)					
博士 (工学) 博士 (学術)					

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成 2	7 年度	平成2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	平成:	3 1 年度	平均入学 定員	備考
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		im 7
		人 1	人 0	人 1	人 0	人 1	人 0	人 1	人 0	人	人		平成29年 度3年次 編入学4
Α	入学定員	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	()		編入字4 人
		[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[]		
		18	1	17	2	18	0	10					
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	()	()	()		
		[7]	[1]	[6]	[2]	[6]	[-]	[4]	[]	[]	[]		
		18	1	17	2	18	0	10					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	()	()	()	1. 20倍	
		[7]	[1]	[6]	[2]	[6]	[-]	[4]	[]	[]	[]	1. 201亩	
		11	0	13	0	16	0	9					
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	()	()	()		
		[2]	[-]	[2]	[0]	[4]	[-]	[3]	[]	[]	[]		
		10	0	13	0	16	0	9					
1	3 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	(1)	()	()	()		
		[2]	[-]	[2]	[0]	[4]	[-]	[3]	[]	[]	[]		
7	、学定員超過率 B/A	1. (00	1.3	30	1.	60	0.	. 9				

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - · 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入して ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成 2	7 年度	平成2	8年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	平成 3	3 1 年度	備考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
	[2]	[-]	[2]	[]	[3]	[]	[3]	[]	[]	[]	
1 年次	(-)	(-)	(1)	()	(-)		(-)				
	10	0	14		12		9				
ļ			[2]	[]	[2]	[]	[3]	[]	[]	[]	平成30年度
2年次			(-)	()	(-)	()	(-)	()	()	()	2年次転専攻2人
			9		13		13				
					[3]	[]	[2]	[]	[]	[]	
3年次					(-)	()	(-)	()	()	()	
ļ					13		11				
							[3]	[]	[]	[]	
4年次							(-)	()	()	()	
							11				
									[]	[]	
5年次	/				/		/		()	()	
	[2	2]	[4]	[8]	[1	1]	[]	
計	(-	-)	(1	1)	(-	-)	(-	-)	()	
	1	0	2	3	3	8	4	4			

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳) / NO WARD
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	主な退学理由
平成27年度	10 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	23 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	進路変更のため
十八20千度	23 人	1 7	平成28年度	0 人	0 人	
			平成27年度	1人	0 人	転専攻
平成29年度	38 人	5 人	平成28年度	2 人	0 人	転専攻
			平成29年度	2 人	0 人	除籍、進路変更のため
			平成27年度	0 人	0 人	
平成30年度	44 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
十成30年度	44 人		平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0人	0 人	
合 計	115 人	6 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
平成27年度の退学者数(a) = <u>0</u> 平成27年度の在学者数(b) 10	=	0 %
【平成28年度】		
平成28年度の退学者数(a) = 1 平成28年度の在学者数(b) 23	=	4.34 %
【平成29年度】		
平成29年度の退学者数(a) = 5 平成29年度の在学者数(b) 38	=	13.15 %
【平成30年度】		
平成30年度の退学者数(a) = 0 平成30年度の在学者数(b) 44	=	0 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻(一貫制博士課程)>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

51 E		配	į	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任				配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年 次	必	選	血 .	教	准教!	講	助	助一	兼		¥目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	- 即	教	准教!	講	助	助一	兼
	物質エネルギーシステム特論!	1.2(3)	修	択1	由	<u>授</u>	授	師	教	手	担	-		物質エネルギーシステム特論!	1 · 2(3)	修	択 1	由	<u>授</u>	授	師	教	手	担
	物質エネルギーシステム特論!!	1.24		1		1								物質エネルギーシステム特論II	1 • 24		1		1					
	物質エネルギー設計特論Ⅰ	1.2①		1			1							物質エネルギー設計特論I	1 • 2①		1		1					
	物質エネルギー設計特論II	1.2(2)		1			1							物質エネルギー設計特論II	1 • 2(2)		1		1					
	エネルギーシステム解析特論!	1.2(3)		1		1								エネルギーシステム解析特論!	1 • 2(3)		1		1					
	エネルギーシステム解析特論!!	1.24		1		1								エネルギーシステム解析特論!!	1 - 24		1		1					
	生物情報計測システム特論[1.2(1)		1			1							生体情報計測システム特論[1 • 2①		1		1					
		1.2(2)					' '							生体情報計測システム特論[[1 · 2(2)		1		1					
基	生物情報計測システム特論II	_					'												!					
礎	生態系型環境システム特論 I 生態系型環境システム特論 II	1.23				1								生態系型環境システム特論I 生態系型環境システム特論II	1 · 2③		1							
専 門	生物応答制御科学特論Ⅰ	1.2①		1		1	1						基	生物応答制御科学特論Ⅰ	1 · 2①		1		'	1				
科 目	生物応答制御科学特論II	1.2(2)		1			1						礎	生物応答制御科学特論II	1 • 2(2)		1			'				
п	食料安全科学特論[1.2(3)		1		1	l '						専 門	食料安全科学特論Ⅰ	1 - 2(3)		1		1	l '				
	食料安全科学特論!!	1.24		1		i							科目	食料安全科学特論[[1 • 24		1		1					
	環境モニタリングシステム特論!	1.2①		1			1							環境モニタリングシステム特論[1 • 2①		1			1				
	環境モニタリングシステム特論!!	1.2(2)		1			1							環境モニタリングシステム特論II	1 • 2(2)		1			1				
	食料エネルギーシステム農学基礎!	1.2		1			ľ				兼1			食料エネルギーシステム農学基礎!	1 • 2		1							Ħ
	食料エネルギーシステム農学基礎!!	1.2		1						ĺ	兼1			食料エネルギーシステム農学基礎!!	1 · 2		1						ĺ	東
	食料エネルギーシステム工学基礎!	①~④ 1·2		1										食料エネルギーシステム農学基礎Ⅲ	①~④ 1·2		1							東
	食料エネルギーシステム工学基礎!!	①~④ 1·2		l :							兼1				①~④ 1·2		1							
:		1.2.3		1							兼1			食料エネルギーシステム農学基礎Ⅳ	①~④ 1·2		1							7
	環境経済学I	1.2.3		2							兼1			食料エネルギーシステム工学基礎!	①~④ 1·2		1							東
	環境経済学Ⅱ	①~② 1·2·3		2							兼1			食料エネルギーシステム工学基礎!!	①~④ 1·2		1							東
	環境経営学	①~② 1·2·3		2							兼1			食料エネルギーシステム工学基礎Ⅲ	①~④ 1·2		1							3
	環境政策と参加	1.2.3		2							兼1	_		食料エネルギーシステム工学基礎IV	①~④		1							1
	環境政策論	1·2·3 ①~②		2							兼1		上 智 大	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 I	1·2·3 ①~④		2							兼
	CSR経営論	1·2·3 ①~②		2							兼1		へ 学 大 学	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 II	1 · 2 · 3 ①~④		2							兼
	産業廃棄物処理	1·2·3 ①~②		2							兼1		院地球	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目Ⅲ	1 · 2 · 3 ①~④		2							兼
	環境社会学	1·2·3 ①~②		2							兼1		環境研	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目IV	1 · 2 · 3 ①~④		2							兼
	環境倫理	1·2·3 ①~②		2							兼1		究 科 開	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 V	1·2·3 ①~④		2							兼
	環境教育	1·2·3 ①~②		2							兼1		放料目	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 VI	1 · 2 · 3		2							兼
	地球環境工学論	1·2·3 (1)~(2)		2							兼1			国際文化比較論及び日本語表 現特論 I	1 - 2 - 3①		1							3
	環境史	1.2.3		2							兼1			国際文化比較論及び日本語表	1 - 2 - 3(2)		1							Ħ
	カーボンマネジメント論	1-2-3		2							兼1			現特論 II 国際文化比較論及び日本語表 現体験 II	1 - 2 - 3(3)		1							3
	国際環境法 I	①~② 1·2·3 ①~②		2							兼1			現特論Ⅲ 国際文化比較論及び日本語表 7月4400111	1 - 2 - 3(4)		1							3
	環境マーケティング論	1-2-3		2							兼1			現特論IV 日本語と日本の文化概論 I	1 - 2 - 3(3)		1							3
	環境ビジネス論	1.2.3		2							- 第1			日本語と日本の文化概論Ⅱ	1 - 2 - 34		1							l'a
	環境金融論	1.2.3		2							兼1			芸術表現	2 - 3		1							3
	環境計画・リスクマネジメント論	1.2.3		2							兼1			異文化交流特論 I	1 • 2①		1							3
	International Comparative Studies for Environmental	1.2.3		2							兼1				1 · 2(2)		1							1
	Policies	①~②									JK I	基盤		異文化交流特論Ⅱ	1 - 2 2		'							
	Japanese Experiences in Environmental Management	1·2·3 ①~②		2							兼1	科		科学英語リーディング特論[1 • 2①		1							1
	International Environmental Treaties	1·2·3 ①~②		2							兼1	目		科学英語リーディング特論II	1 • 2(2)		1							Ą
	Environmental Law	1.2.3		2							兼1			英文ライティング・研究倫理	1 · 2 · 3 · 4 (1)~(4)		2							3
	Environmental Assessment	1.2.3		2							兼1			物質界面プロセス特論 I	3 - 4 - 5(3)		1		1					
上	Integrative Environmental	1·2·3 ①~②		2							兼1			物質界面プロセス特論Ⅱ	3 - 4 - 5(4)		1		1					
智大	Policy Ocan and Environment	1·2·3 (1~2)		2							兼1			物質エネルギー材料設計特論 I	3 - 4 - 5①		1		1					
大学大	Marine Environmental Policy	1-2-3		2							兼1			物質エネルギー材料設計特論 II	3 - 4 - 5(2)		1		1					
大学	Business Strategies for	1.2.3		2							兼1			環境エネルギーシステム特論Ⅰ			1		1					
学院	Sustainability Environmental Resource	1.2.3		2							兼1			環境エネルギーシステム特論Ⅱ			1		1					
地球	Management Policy 環境法Ⅱ	①~② 1·2·3		2							兼1			生物相互作用システム特論Ⅰ			1		1					
環境		3~4 1·2·3								ĺ							1		' 1				ĺ	
研	森林環境政策	3~4		2						ĺ	兼1			生物相互作用システム特論Ⅱ	3 - 4 - 5(2)		1		1				ĺ	
究 科	環境・エネルギー技術論	3~4 1·2·3		2							兼1			土壤生態系機能解析特論I	3 - 4 - 5(3)		1		1					
開	サステナビリティと金融	3~4	Ī	2	I		1	I	Ì	l	兼1			土壤生態系機能解析特論Ⅱ	3 - 4 - 5@	Ì	1	l	1	Ì	l	I	1	1

1	放	循環型社会政策論	1.2.3		2				1 1		兼1	1 1		生物資源循環制御特論 I	3 - 4 - 5①		1	1 1		1	1 1		1	1 1
	科目	地球温暖化対策論	3~4 1·2·3 3~4		2						兼1			生物資源循環制御特論Ⅱ	3 - 4 - 5(2)		1			1				
	Н	エネルギーと環境	1.2.3		2						兼1			バイオセンシング特論 I	3 - 4 - 5(3)		1		1					
		環境と消費	1.2.3		2						兼1			バイオセンシング特論 Ⅱ	3 - 4 - 5@		1		1					
		環境研究のフロンティア	1.2.3		2						兼1			環境分子動態学特論 I	3 - 4 - 5(1)		1			1				
		移動現象と環境	1.2.3		2						兼1			環境分子動態学特論Ⅱ	3 - 4 - 5(2)		1			1				
		化学物質と環境	1·2·3 ③~④		2						兼1		キャ	キャリア開発プログラム I	1①~②	2								兼1
		国際環境法Ⅱ	1·2·3 ③~④		2						兼1		グア	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2								兼1
		環境ジャーナリズム論	1·2·3 ③~④		2						兼1			キャリア展開プログラム I	13~4		1							兼1
基		Global Environmental Policy	1·2·3 ③~④		2						兼1		ム 開 発 プ	キャリア展開プログラムⅡ	2①~②		1							兼1
盤		Environment and Sustainable Lifestyles	1·2·3 ③~④		2						兼1		0	キャリア展開プログラムⅢ	23~4		1							兼1
科 目		Introduction to	1-2-3		2						兼1			実践型インターンシップ(企	1 • 2 • 3 • 4 • 5		2							兼1
		Environmental Accounting	3~4		2						JK I			業連携)	⊕~@		2							ak i
		Environmental Science and Technology	1.2.3		2						兼1			企業共同研究	3·4·5 ①~④		2							兼1
															1(3)~									
		Environmental Economics	1·2·3 ③~④		2						兼1			国際インターンシップ特論事 前学習	②、 2·3· 4·5①		1							兼1
															~4									
		Environment and Development in Developing	1.2.3		•						thir s		社		13~		1							Mr.1
		Countries	3~4		2						兼1		会交	国際インターンシップ実習!	2 · 3 · 4 · 5① ~④		'							兼1
													流科		1(3)~									
		Environmental Planning	1·2·3 ③~④		2						兼1		Ë	国際インターンシップ実習 Ⅱ	②、 2·3· 4·5①		1							兼1
															~4									
		Global Forest Conservation	1·2·3 ③~④		2						兼1			国際インターンシップ特論事	13~ 4. 2 · 3 ·		1							兼1
		Policy	3~4		2						JK I			後学習	4 · 5① ~④		'							ak i
		Environmental History	1.2.3		2						兼1			政策提言Ⅰ	3 • 4 • 5		1							兼1
		,	3~4		_						XIC.			-	①~④		ľ							AK.
		Strategic Environmental Management	1·2·3 ③~④		2						兼1			政策提言Ⅱ	3·4·5 ①~④		1							兼1
		Sustainable Communities/Projects and	1.2.3		2						兼1			研究指導A	1①~④	2			6	2				兼2
		Policies	3~4		_						XIC.		研			-			Ů	_				NK-
		国際文化比較論及び日本語表 現特論 I	1.2.3①		1						兼1		究 指	研究指導B	13~ 4 · 2(1)~(2)	2								兼10
		国際文化比較論及び日本語表									- ·		導											***
		現特論 II 国際文化比較論及び日本語表	1.2.3(2)		1						兼1			研究指導C	2①~④	2								兼10
		現特論 II I 国際文化比較論及び日本語表	1.2.3(3)		1						兼1		セ	研究成果発表I	1①~②	1			6	2				兼2
		現特論IV	1.2.34		1						兼1		ミナー	研究成果発表Ⅱ	13~4	1			6	2				兼2
		日本語と日本の文化概論Ⅰ	1.2.3(3)		1						兼1			研究成果発表Ⅲ	2①~②	1			6	2				兼2
		日本語と日本の文化概論 II Artistic	1.2.34		1						兼1		成 果	研究成果発表IV	23~4	1			6	2				兼2
		Impression/Expression	2·3·4·5 ①~④		1						兼1		発	実践的英語研究成果発表I	3④	2			6	2				兼2
		異文化交流特論 I	1.2①		1						兼1		表	実践的英語研究成果発表Ⅱ	44	2			6	2				兼2
		異文化交流特論Ⅱ	1.2(2)		1						兼1			グリーンクリーン食料生産特論I	3 · 4 · 5 ①~④		2							兼1
		科学英語リーディング特論[4.000		4						nter e			グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3 - 4 - 5		0							Mr.s
		件子英語リーティング特舗!	1.23		1						兼1			クリーングリーン良料工座付舗Ⅱ	①~④		2							兼1
		科学英語リーディング特論!!	1.24		1						兼1			グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3 · 4 · 5 ①~④		2							兼1
		English Writing and Ethics	n(T) - (M)		1						兼1			グリーンクリーン食料生産特論IV	3 - 4 - 5		2							兼1
		Ligitish withing and Ethios	206		'						JK I		専 門	,, ,, , , , , , , , , , , , , , , , ,	⊕~@		2							ak i
		物質界面プロセス特論	3-4-5(3)		1		1						科 目	海外研究留学I	3 · 4 · 5 ①~④		1							兼1
		物質エネルギー材料設計特論	3+4+5(1)		1			1					н	海外研究留学Ⅱ	3 • 4 • 5		1							兼1
		TO THE PARTY OF THE													33~		·							NV.
		環境エネルギーシステム特論	3 • 4 • 5(3)		1		1							海外研究留学Ⅲ	④、 4·5①		1							兼1
															~@ 3(3)~									
		生物相互作用システム特論	3-4-5①		1		1							海外研究留学Ⅳ	④、 4 · 5①		1							兼1
												-			~@ 3 · 4 · 5									
		土壤生態系機能解析特論	3-4-5(3)		1		1						1	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3·4·5 ①~②		1							兼1
		生物資源循環制御特論	3-4-5①		1			1					ノベ	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3 · 4 · 5 ①~②		1							兼1
													- 1											
		バイオセンシング特論	3-4-5(3)		1			1					シ ョ	イノベーション推進特別講義Ⅲ	①~②		1							兼1
		環境分子動態学特論	3·4·5①		1			1					ン 科	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3·4·5 (3)~(4)		1							兼1
	+	たいリマ即発 ゴロビニ・・	100-00	2							jht: 1		Ē	メノバーション・佐米林田神井***	3 - 4 - 5		1							36 t
	ャリ	キャリア開発プログラム I	1①~②	2							兼1			イノベーション推進特別講義Ⅴ	3~4		1							兼1
	ア	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2							兼1			実践的英語プレゼンテーションI		1			6	2				兼2
٨	発	キャリア展開プログラム I	13~4		1						兼1			実践的英語プレゼンテーションⅡ		1			6	2				兼2
	プ ロ	キャリア展開プログラムⅡ	2①~(2)		1						兼1			実践的英語プレゼンテーションⅢ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		1		6	2				兼2
	1 グラ	たなける 屋間 ポロギニ ケモ	970 - 7		1						jhik 4			国際充法ロータン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			2							施士
	,	キャリア展開プログラムⅢ	23~4		1						兼1	ıl		国際交流ワークショップ	1①~④		2			l				兼1

	実践型インターンシップ(企業連携)	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
	企業共同研究	3·4·5 ①~④		2				兼1
社	国際インターンシップ特論事 前学習	13~ 4. 2·3· 4·5 ①~4		1				兼1
会 交 流 科	国際インターンシップ実習!	13~ 4. 2·3· 4·5 ①~4		1				兼1
目	国際インターンシップ実習Ⅱ	13~ 4. 2·3· 4·5 ①~④		1				兼1
	国際インターンシップ特論事 後学習	13~ 4. 2·3· 4·5 ①~④		1				兼1
	政策提言	3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
T.T.	研究指導A	1①~④	2		4	4		兼2
研 究 指	研究指導B	1(3)~ (4)· 2(1)~(2)	2					兼10
導	研究指導C	2①~④	2					兼10
セ	研究成果発表I	1①~②	1		4	4		兼2
ミ ナ ー	研究成果発表Ⅱ	13~4	1		4	4		兼2
	研究成果発表Ⅲ	2①~(2)	1		4	4		兼2
成 果	研究成果発表Ⅳ	2(3)~(4)	1		4	4		兼2
発表	実践的英語研究成果発表 I	33~4	2		4	4		兼2
	実践的英語研究成果発表 Ⅱ	43~4	2		4	4		兼2
	グリーンクリーン食料生産特論[3·4·5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3·4·5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3·4·5 ①~④		2				兼1
専	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3·4·5 ①~④		2				兼1
門 科 目	海外研究留学 I	3·4·5 ①~④		1				兼1
н	海外研究留学Ⅱ	3·4·5 ①~④		1				兼1
	海外研究留学Ⅲ	3(3)~ (4), 4·5(1) ~(4)		1				兼1
	海外研究留学Ⅳ	3(3)~ (4), 4·5(1) ~(4)		1				兼1
1	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
イノベーショ	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3·4·5 ①~②		1				兼1
ショ	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
ン 科	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3·4·5 (3)~(4)		1				兼1
目	イノベーション推進特別講義♡	3 · 4 · 5 (3)~(4)		1				兼1
	実践的英語プレゼンテーション I		1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	23~4	1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		1	4	4		兼2
国 際 科 目	国際交流ワークショップ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
п	国際ディベート演習	1 · 2 · 3 · 4 · 5 (3)~(4)		1				兼1
	国際コミュニケーション演習	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1

	国際ディベート演習	1 · 2 · 3 · 4 · 5 (3) ~ (4)	1				兼1
国際科目	国際コミュニケーション演習I	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②	1				兼1
B	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②	1				兼1
	国際コミュニケーション演習皿	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②	1				兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅳ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②	1				兼1

【平成27年度】

【平成28年度】

Mark Harmon Canage 1970		F 队 2 / 年 度 』		,	** / * *	<i>i</i>	#	T ±		O ET	—	兼	1		平队28年度』			}¥	k-L-	-	IT ±4	 #	_ II	≖	兼
Section	科目	哲学科 日の夕称	当									任			哲学科 日の夕称	当								_	任
### Company of the co	区分	技术符号の名称						教				兼		区分	技术符号の名称						教				兼
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		物質Tネルギーシステム結論!		修		田		授	帥	教	÷	担	1		物質 T ネルギーシステム 結論!		修		田		授	師	教	于	担
### ### ### ### ### ### ### ### ### #																									
### 1							'	١.								-				l '					
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																					1				
####################################		物質エネルギー設計特論II	1.2(2)		1			1							物質エネルギー設計特論II	1.2(2)		1			1				
변報한 제 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2		エネルギーシステム解析特論!	1.2(3)		1		1								エネルギーシステム解析特論!	1.2(3)		1		1					
		エネルギーシステム解析特論!!	1.24		1		1								エネルギーシステム解析特論!!	1.24		1		1					
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		生物情報計測システム特論[1.2①		1			1							生物情報計測システム特論!	1.2①		1			1				
		生物情報計測システム特論!!	1 • 2(2)		1			1							生物情報計測システム特論[[1.2(2)		1			1				
日本の元本的に下級日 1		生態系型環境システム特論[1.2(3)		1		1								生態系型環境システム特論[1.2(3)		1		1					
### 2000 日		生態系型環境システム特論[[1.24		1		1								生態系型環境システム特論!!	1.24		1		1					
### 2000 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基	生物応答制御科学特論Ⅰ	1.2①		1			1						基	生物応答制御科学特論Ⅰ	1.2①		1			1				
### ART 2017 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	礎 寅	生物応答制御科学特論II	1.2(2)		1			1							生物応答制御科学特論II	1.2(2)		1			1				
### 2017 (1975 年 1976 日本) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	門	食料安全科学特論[1.2(3)		1		1							門	食料安全科学特論Ⅰ	1.2(3)		1		1					
報告できなりがシステム解除 1-20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		食料安全科学特論II	1.24		1		1								食料安全科学特論II	1.24		1		1					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			1·2(T)					1								1.2(1)					1				
##1 ##1-04-07-07-07-08-08 1																									
### 1			1.2		1			'				1 1 1 1				1.2					ļ .				兼1
1			1 • 2													1-2									兼1
##1 ##1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			()~(₄)		1											①~④									
##1200-201-201-201-201-201-201-201-201-201			D~									l				①~④									兼1
##1			D~													①~④									兼1
数1			①~④																						兼1
東京		食料エネルギーシステム工学基礎!!	⊕~④		1							兼1			食料エネルギーシステム工学基礎!!	①~④		1							兼1
		食料エネルギーシステム工学基礎Ⅲ	Ф~Ф		1							兼1			食料エネルギーシステム工学基礎Ⅲ	①~④		1							兼1
現場		食料エネルギーシステム工学基礎Ⅳ	⊕~⊕		1							兼1			食料エネルギーシステム工学基礎Ⅳ	1)~4)		1							兼1
### 1 日本の		環境経済学Ⅰ	1)~(2)		2							兼1			環境経済学I	①~②		2							兼1
関係政策を参加 10-2 2 表 1 日本政策を与加 10-2 2 表 1 日東政策を参加 10-2 2 日東政策を参加 10-2 2 日東政策を 10-2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		環境経済学Ⅱ	1·2·3 ③~④		2							兼1			環境経済学Ⅱ	1·2·3 ③~④		2							兼1
関係政権		環境経営学	1·2·3 ①~②		2							兼1			環境経営学	1·2·3 ①~②		2							兼1
(5-2) 2		環境政策と参加	1·2·3 ①~②		2							兼1			環境政策と参加	1·2·3 ①~②		2							兼1
## 1		環境政策論	1·2·3 ①~②		2							兼1			環境政策論	1·2·3 ①~②		2							兼1
環境性会学 10-2 2 2 ま1		CSR経営論	1.2.3		2							兼1			CSR経営論	1·2·3 ①~②		2							兼1
環境性会学 10-2 2 2 ま1		産業廃棄物処理	1·2·3 ①~②		2							兼1			産業廃棄物処理	1.2.3		2							兼1
環境機関 0-2 2 2 3 第1 20-3 2 3 3		環境社会学	1-2-3		2							兼1			環境社会学			2							兼1
環境教育 0-2 2 表 1		環境倫理	1-2-3		2							兼1			環境倫理	1-2-3		2							兼1
### 地球環境工学論		環境教育													環境教育										兼1
理境史 0-2 2 2			1-2-3									ntate +				1-2-3									兼1
カーボンマネジメント論 (1-5) (1-5			1.2.3													1-2-3									兼1
国際環境法 1			1-2-3													1.2.3									
現場マーケティング論			①~② 1·2·3													1-2-3									兼1
環境ビジネス論 1-2-3 2 2 第1 環境ビジネス論 1-2-3 2 2 3 第1 環境ビジネス論 1-2-3 02 2 3 1-2-3 02 3			1)~(2)													①~(2)									兼1
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			1)~(2)													①~(2)									兼1
①一之 2			1)~(2)													①~(2)									兼1
International Comparative Studies for Environmental On-20 2 2 2 2 3 3 1 1 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3			1)~(2)													①~②									兼1
Studies for Environmental Policies 12-23 2 12-23 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 12-23 2 12-23 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 2 12-23 1			①~②		2							兼1				①~②		2							兼1
Total color		Studies for Environmental	1·2·3 ①~②		2							兼1			Studies for Environmental	1·2·3 ①~②		2							兼1
The control of th		Japanese Experiences in	1-2-3		2										Japanese Experiences in	1-2-3		2							兼1
Environmental Treaties ①・②		International	1.2.3												International	1-2-3									兼1
Environmental Assessment 12-3			⊕~②													1-2-3									兼1
Environmental Assessment			1-2-3													①~② 1·2·3									
Policy			①~②													①~(2)									兼1
Mar ine Environmental 1-2-3 Policy 1-2-3 Policy 日本		Policy	1)~(2)												Policy	①~(2)									兼1
Policy ① ② ② ② ② □ ※ 1 Policy ① ③ ② ② ② ② □ ※ 1 Policy ③ ③ ② ② ② ② □ ② ② □ ※ 1 Policy ⑤ ② ② ② □ ② ② □ ② □ ② □ ② □ ② □ ② □ ② □																①~(2)									兼1
Sustainability		Policy	1)~(2)												Policy	①~②									兼1
Management Policy ①~② 2		Sustainability	1)~(2)		2							兼1			Sustainability	①~②		2							兼1
12-3 2 兼1 12-3 2 東1 12-3 2		Environmental Resource Management Policy	1)~(2)		2							兼1			Environmental Resource Management Policy	①~(2)		2							兼1
球体環境収集 3~@ 2		環境法Ⅱ			2							兼1			環境法 🛚	1·2·3 ③~④		2							兼1
株式・エヤルヤー以前側 ②~④ Z		森林環境政策			2							兼1			森林環境政策	1·2·3 ③~④		2							兼1
中フニナビ 三ノ L 本語 12-3 9		環境・エネルギー技術論	1·2·3 ③~④		2							兼1			環境・エネルギー技術論	1·2·3 ③~④		2							兼1
		サステナビリティと金融	1-2-3		2							兼1			サステナビリティと金融	1-2-3		2							兼1

ı	:	(C. TE TILL A T. M. SA	1-2-3	1.1	1 1	1 1	1 1	Mr.	ı	ŧ	### 3144 A 75 # 5A	1-2-3	ا م ا	I 1	1 1	i 1	26.1
	上	循環型社会政策論	3~4 1·2·3	2				兼1 兼1			循環型社会政策論	3~4 1·2·3	2				兼1
	智	地球温暖化対策論	3~4 1·2·3	2							地球温暖化対策論	(3)~(4) 1·2·3	2				兼1
	学	エネルギーと環境	3~4 1·2·3	2 2				兼1 兼1			エネルギーと環境 環境と消費	3~4 1·2·3	2 2				兼1 兼1
	大学大学院	環境と消費 環境研究のフロンティア	3~4	2				兼1			環境研究のフロンティア	1.2.3	2				兼1
	地	移動現象と環境	3~4	2				兼1			移動現象と環境	3~4	2				兼1
	球環	化学物質と環境	3~4	2				兼1			化学物質と環境	3~4 1·2·3	2				兼1
	境	国際環境法Ⅱ	3~4 1·2·3 3~4	2				兼1			国際環境法Ⅱ	3~4 1·2·3 (3~4)	2				兼1
	研究科開	環境ジャーナリズム論	1.2.3	2				兼1		上	環境ジャーナリズム論	1.2.3	2				兼1
	開放	Global Environmental Policy	1.2.3	2				兼1		智	Global Environmental Policy	1·2·3 (3)~(4)	2				兼1
	科目	Environment and Sustainable Lifestyles	1·2·3 ③~④	2				兼1		大学大	Environment and Sustainable Lifestyles	1·2·3 ③~④	2				兼1
		Introduction to Environmental Accounting	1-2-3 ①~②	2				兼1		学	Introduction to Environmental Accounting	1·2·3 ①~②	2				兼1
		Environmental Science and Technology	1·2·3 (3)~(4)	2				兼1		院 地	Environmental Science and Technology	1·2·3 (3)~(4)	2				兼1
		Environmental Economics	1·2·3 ③~④	2				兼1		球環	Environmental Economics	1·2·3 ③~④	2				兼1
		Environment and Development in Developing	1-2-3	2				兼1		境研	Environment and Development in Developing	1-2-3	2				兼1
		Countries	3~4							究科	Countries	1-2-3					
		Environmental Planning Global Forest Conservation	3~4	2 2				兼1 兼1		開放	Environmental Planning Global Forest Conservation	3~4	2 2				兼1 兼1
		Policy Environmental History	3~4	2				兼1		科目	Policy Environmental History	3~4	2				兼1
		Strategic Environmental	3~4 1·2·3 3~4	2				兼1			Strategic Environmental	3~4 1·2·3 3~4	2				兼1
		Management Sustainable Communities/Projects and	1-2-3					兼1			Management Sustainable Communities/Projects and	1-2-3					兼1
		Policies	3~4	2				NK I			Policies	3~4	2				NK.
基		日本の環境法	1·2·3 ①~②	2				兼1			日本の環境法	1·2·3 (1)~(2)	2				兼1
盤科		環境マーケティング	1-2-3 ①~②	2				兼1			環境マーケティング	1·2·3 ①~②	2				兼1
目		持続可能社会政策論	1·2·3 ①~②	2				兼1			持続可能社会政策論	1·2·3 ①~(2)	2				兼1
		環境政策形成論	1-2-3	2							環境政策形成論	1-2-3	2				兼1
			①~② 1·2·3					兼1				1.2.3					
		環境と経済制度	ტ~@	2				兼1	基盤		環境と経済制度	①~②	2				兼1
		生物と環境	1-2-3 D~©	2				兼1	科目		生物と環境	1·2·3 ①~②	2				兼1
		Green Marketing	1·2·3 ①~②	2				兼1			Green Marketing	1·2·3 ①~②	2				兼1
		Japanese Environmental Law	1-2-3 ①~②	2				兼1			Japanese Environmental Law	1·2·3 ①~②	2				兼1
		CSR経営	1·2·3 ③~④	2				兼1			CSR経営	1·2·3 ③~④	2				兼1
		環境リスクマネジメント	1·2·3 ③~④	2				兼1			環境リスクマネジメント	1·2·3 ③~④	2				兼1
		国際環境法	1·2·3 ③~④	2				兼1			国際環境法	1·2·3 ①~②	2				兼1
		環境工学	1-2-3	2				# 1			環境工学	1-2-3	2				兼1
		途上国の環境と開発	3~⊕ 1·2·3					***				3~4					
			③~④	2				兼1			途上国の環境と開発	1·2·3 (3)~(4)	2				兼1
		Environment and Supply Chain Management	1·2·3 ③~④	2				兼1			Environment and Supply Chain Management	1·2·3 ③~④	2				兼1
		Recycling Systems in Asia	1-2-3 ③~④	2				兼1			Recycling Systems in Asia	1·2·3 ③~④	2				兼1
		Global Environment Outlook	1-2-3 3~@	2				兼1			Global Environment Outlook	1·2·3 ③~④	2				兼1
		Energy and Environmental Technology	1·2·3 ③~④	2				兼1			Energy and Environmental Technology	1·2·3 ③~④	2				兼1
	i	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅰ	1.0.00	1				Mt 1			循環型社会形成・廃棄物対策論	1 • 2 • 3	2				#1
		国際文化比較編及びロ本語表現行編Ⅰ	1-2-3()	1				兼1			東京並仁文が本・原集物内末面	0~ 2					兼1
		国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅱ	1-2-3(2)	1				兼1			環境行政論	1 · 2 · 3 ①~②	2				兼1
		阿尔内尔马拉斯 克尔马克斯克尔马拉斯克尔						Mrs				1 · 2 · 3					
		国際文化比較論及び日本語表現特論ⅡⅠ	1.2.3(3)	1				兼1			環境研究のための統計学	⊕~@	2				兼1
		国際文化比較論及び日本語表現特論IV	1-2-3(4)	1				兼1			ジェンダーと環境	1 · 2 · 3 ①~②	2				兼1
											Environmental	1 • 2 • 3					اا
		日本語と日本の文化概論 I	1.2.3(3)	1				兼1			Administration	്യ~യ്	2				兼1
		日本語と日本の文化概論Ⅱ	1-2-3(4)	1				兼1			Ecology and the Environment	1 · 2 · 3 ①~②	2				兼1
		Artistic	2+3	4				ж. i			Chemical Substances and	1 • 2 • 3					 .
		Impression/Expression	თ~"@	1				兼1			the Environment	3~ ®	2				兼1
		異文化交流特論 I	1.2①	1				兼1			Climate Change Policy	1 · 2 · 3 ③~④	2				兼1
ı		1	. !	ı I	1	ı l	1 1	ı	ı	i	Į		1	ı I	1 1	1 I	I

1	異文化交流特論Ⅱ	1.2(2)	1 1	1	ı	ĺ			1	I	兼1	I	国際文化比較論及び日本語表	1 • 2 • 3①	ĺ	1	1		1	1	ı	兼1
	科学英語リーディング特論[1-2①		1							兼1		現特論 I 国際文化比較論及び日本語表 現特論 II	1 - 2 - 3(2)		1						兼1
	科学英語リーディング特論II	1-22		1							兼1		国際文化比較論及び日本語表 現特論 II I	1 • 2 • 3(3)		1						兼1
	English Writing and Ethics	1·2·3·4 ①~@		1							兼1		国際文化比較論及び日本語表 現特論IV	1 • 2 • 3 🚯		1						兼1
	物質界面プロセス特論 I	3-4-5(3)		1		1							日本語と日本の文化概論 I	1 - 2 - 3(3)		1						兼1
	物質界面プロセス特論 II	3-4-5@		1		1							日本語と日本の文化概論Ⅱ	1 • 2 • 3 🐠		1						兼1
	物質エネルギー材料設計特論 I	3-4-5①		1			1						Artistic Impression/Expression	2·3 ①~④		1						兼1
	物質エネルギー材料設計特論Ⅱ	3-4-5@		1			1						異文化交流特論 I	1.2①		1						兼1
	環境エネルギーシステム特論 I	3-4-5(3)		1		1							異文化交流特論Ⅱ	1.2(2)		1						兼1
	環境エネルギーシステム特論 II	3-4-5@		1		1							科学英語リーディング特論Ⅰ	1.2①		1						兼1
	生物相互作用システム特論 I	3.4.5①		1		1							科学英語リーディング特論!!	1.2(2)		1						兼1
	生物相互作用システム特論Ⅱ	3-4-5@		1		1							English Writing and Ethics	1.2.3.4		1						兼1
	土壤生態系機能解析特論 I	3-4-5(3)		1		1							物質界面プロセス特論 I	3 • 4 • 5(3)		1		1				l
	土壤生態系機能解析特論Ⅱ	3-4-5@		1		1							物質界面プロセス特論Ⅱ	3 • 4 • 5 (4)		1		1				
	生物資源循環制御特論 I	3.4.5①		1			1						物質エネルギー材料設計特論 I	3-4-5①		1			1			
	生物資源循環制御特論 II	3-4-5@		1			1						物質エネルギー材料設計特論Ⅱ	3 • 4 • 5(2)		1			1			
	パイオセンシング特論 I	3-4-5(3)		1			1						環境エネルギーシステム特論I	3 • 4 • 5(3)		1		1				
	パイオセンシング特論Ⅱ	3-4-5@		1	J		1						環境エネルギーシステム特論Ⅱ	3-4-54		1		1				
1	環境分子勤態学特論 I	3-4-5①		1			1						生物相互作用システム特論 I	3 • 4 • 5(1)		1		1			J	
+.	環境分子動態学特論Ⅱ	3-4-5@		1			1		_	_			生物相互作用システム特論Ⅱ	3 • 4 • 5(2)		1		1				
キャリ	キャリア開発プログラム I	1①~②	2								兼1		土壌生態系機能解析特論I	3 • 4 • 5(3)		1		1				
ラア	キャリア開発プログラムⅡ	1(1)~(2)	2								兼1		土壌生態系機能解析特論Ⅱ	3 • 4 • 5 ④		1		1				
ラム 発 プ	キャリア展開プログラム I キャリア展開プログラム II	2①~②		1							兼1 兼1		生物資源循環制御特論 I 生物資源循環制御特論 II	3-4-5(2)		1						
ログ	キャリア展開プログラムⅢ	23~4		1							兼1		バイオセンシング特論Ⅰ	3-4-5(3)		1			'			
9	実践型インターンシップ(企	1 - 2 -																				
	業連携)	3·4·5 ①~④		2							兼1		バイオセンシング特論 Ⅱ	3-4-54		1			1			
	企業共同研究	3 · 4 · 5 ①~④		2							兼1		環境分子動態学特論 I	3-4-5①		1			1			
	国際インターンシップ特論事前学習	(4).		1							兼1		環境分子動態学特論Ⅱ	3-4-5(2)		1			1			
社会交流	国際インターンシップ実習!	1(3)~ (4). 2 · 3 · 4 · 5(1) ~(4)		1							兼1	+	キャリア開発プログラム I	1(1)~(2)	2							兼1
流 科 目	国際インターンシップ実習Ⅱ	1(3)~ (4), 2 · 3 · 4 · 5(1) ~(4)		1							兼1	キャリア開	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2							兼1
	国際インターンシップ特論事後学習	1③~ ④、 2·3· 4·5① ~④		1							兼1	発 プロ グ	キャリア展開プログラム I	13~4		1						兼1
	政策提書Ⅰ	3·4·5 ①~④		1							兼1	ラ ム	キャリア展開プログラムⅡ	2①~②		1						兼1
	政策提賞Ⅱ	3 · 4 · 5 ①~@		1							兼1		キャリア展開プログラムⅢ	2(3)~(4)		1						兼1
	研究指導A	1①~④	2			4	4				兼2		実践型インターンシップ(企業連携)	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		2					1	兼1
研究指導	研究指導B	13~ 4)· 21)~(2)	2								兼10		企業共同研究	3 · 4 · 5 ①~④		2						兼1
<##	研究指導C	2①~④	2								兼10		国際インターンシップ特論事前学習	13~ 4). 2·3· 4·5(1) ~4)		1						兼1
	研究成果発表I	1①~②	1			4	4			Ī	兼2	社会交流	国際インターンシップ実習!	1(3)~ (4). 2·3· 4·5(1) ~(4)		1						兼1
セミナー	研究成果発表Ⅱ	13~4	1			4	4				兼2	科目	国際インターンシップ実習Ⅱ	1③~ ④、 2·3· 4·5① ~④		1						兼1
· 成 果	研究成果発表Ⅲ	2①~②	1			4	4				兼2		国際インターンシップ特論事後学習	1(3)~ (4), 2·3· 4·5(1) ~(4)		1						兼1
発 表	研究成果発表Ⅳ	23~4	1			4	4				兼2		政策提言 I	3·4·5 ①~④		1						兼1
	実践的英語研究成果発表 I	3@	2			4	4				兼2		政策提言Ⅱ	3·4·5 ①~④		1						兼1

Ī	実践的英語研究成果発表 II	43	2		4	4		兼2
	グリーンクリーン食料生産特論!	3·4·5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 II	3·4·5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3·4·5 ①~④		2				兼1
専門	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3·4·5 ①~④		2				兼1
科 目	海外研究留学 I	3·4·5 ①~④		1				兼1
	海外研究留学Ⅱ	3·4·5 ①~④		1				兼1
	海外研究留学皿	3(3)~ (4). 4 · 5(1) ~(4)		1				兼1
	海外研究留学Ⅳ	3(3)~ (4), 4·5(1) ~(4)		1				兼1
1	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3·4·5 ①~②		1				兼1
イノベー	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3·4·5 ①~②		1				兼1
ショ	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3·4·5 ①~②		1				兼1
ン 科 目	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3·4·5 3~4		1				兼1
Ħ	イノベーション推進特別講義∇	3·4·5 3~4		1				兼1
	実践的英語プレゼンテーションI	1@	1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	24	1		4	4		兼2
国際	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		1	4	4		兼2
科目	国際交流ワークショップ	10~@		2				兼1
	国際ディベート演習	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ③~④		1				兼1
	国際コミュニケーション演習	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1

	研究指導A	1①~④	2		4	4		兼2
研究指	研究指導B	1(3)~ (4) · 2(1)~(2)	2					兼10
導	研究指導C	2①~④	2					兼10
	研究成果発表 I	1①~②	1		4	4		兼2
セ	研究成果発表Ⅱ	13~4	1		4	4		兼2
セミナー	研究成果発表Ⅲ	2①~(2)	1		4	4		兼2
· 成	研究成果発表Ⅳ	23~4	1		4	4		兼2
果 発 表	実践的英語研究成果発表I	34	2		4	4		兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅱ	44	2		4	4		兼2
	グリーンクリーン食料生産特論[3·4·5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3·4·5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
専	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
門 科 目	海外研究留学 I	3·4·5 ①~④		1				兼1
	海外研究留学Ⅱ	3·4·5 ①~④		1				兼1
	海外研究留学皿	3(3)~ (4). 4·5(1) ~(4)		1				兼1
	海外研究留学IV	3(3)~ (4), 4·5(1) ~(4)		1				兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
イノベー	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
ーション	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
科目	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3 · 4 · 5 (3)~(4)		1				兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅴ	3·4·5 ③~④		1				兼1
	実践的英語プレゼンテーションI	1@	1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	1.2.	1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	3·4·5 ①~④		1	4	4		兼2
	国際交流ワークショップ	1①~④		2				兼1
	国際ディベート演習	3·4·5 (3)~(4)		1				兼1
国 際 科	国際コミュニケーション演響 I	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
B	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
	国際コミュニケーション演習車	1·2· 3·4·5 ①~②		1				兼1
	國際コミュニケーション演響Ⅳ	1·2· 3·4·5 ①~②		1				兼1

【平成29年度】

科	В		配当		单位数				員等			兼任
区		授業科目の名称	年次	必修	選択	血曲	教授	准教授	講	助教	助手	兼担
		物質エネルギーシステム特論I	1 • 2(3)	11念	1	Ш	1	乜	師	<u>₹X</u>	+	担
		物質エネルギーシステム特論II	1 • 24		1		1					
		物質エネルギー設計特論!	1 • 2①		1			1				
		物質エネルギー設計特論!!	1 • 2(2)		1			1				
		エネルギーシステム解析特論	1 • 2(3)		1		1					
		エネルギーシステム解析特論II	1 • 24		1		1					
		生物情報計測システム特論Ⅰ	1 • 2①		1			1				
		生物情報計測システム特論!!	1 • 2(2)		1			1				
		生態系型環境システム特論Ⅰ	1 • 2(3)		1		1					
		生態系型環境システム特論II	1 • 24		1		1					
麦		生物応答制御科学特論[1 • 2①		1			1				
00	孠	生物応答制御科学特論II	1 • 2(2)		1			1				
科	4	食料安全科学特論[1 • 2(3)		1		1					
E	1	食料安全科学特論[]	1 • 24		1		1					
		環境モニタリングシステム特論[1			1				
		環境モニタリングシステム特論II			1			1				
		食料エネルギーシステム農学基礎!			1							兼1
		食料エネルギーシステム農学基礎!!			1							兼1
		食料エネルギーシステム農学基礎Ⅲ			1							兼1
		食料エネルギーシステム農学基礎Ⅳ			1							兼1
		食料エネルギーシステム工学基礎!			1							兼1
		食料エネルギーシステム工学基礎!!			1							兼1
		食料エネルギーシステム工学基礎Ⅲ			1							兼1
	ļ	食料エネルギーシステム工学基礎Ⅳ			1							兼1
	上智	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 I	1 · 2 · 3 D~@		2							兼3
	大学											
	大学	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 II	1 · 2 · 3 ①~④		2							兼3
	院	上智大学大学院地球環境研究	1 • 2 • 3									
	地球	科開放科目並	თ~⊛		2							兼3
	環境	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目Ⅳ	1 . 2 . 3		2							兼3
	研究	科開放科目17	Ф~@		-							***
	科開	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目 V	1 · 2 · 3 • • • •		2							兼3
	放	THE DELICATION OF										
	科目	上智大学大学院地球環境研究 科開放科目Ⅵ	1 · 2 · 3 ①~④		2							兼3
		国際文化比較論及び日本語表	1 - 2 - 3①		1							兼1
		現特論 I 国際文化比較論及び日本語表	1 - 2 - 3(2)		1							兼1
		現特論 II 国際文化比較論及び日本語表	1 - 2 - 3(3)		1							兼1
		現特論Ⅲ 国際文化比較論及び日本語表	1 - 2 - 3@		1							兼1
		現特論IV 日本語と日本の文化概論 I	1 - 2 - 3(3)		1							兼1
		日本語と日本の文化概論Ⅱ	1 - 2 - 3@		1							兼1
		芸術表現	2 - 3		1							兼1
			①~④									
基		異文化交流特論 I	1 • 2①		1							兼1
盤科		異文化交流特論Ⅱ	1 • 2(2)		1							兼1
目		科学英語リーディング特論!	1 • 2①		1							兼1
		Ed AM THEE .			4							
		科学英語リーディング特論II	1 · 2(2)		1							兼1
		英文ライティング・研究倫理	3 · 4 ①~④		2							兼1
		物質界面プロセス特論 I	3 - 4 - 5(3)		1		1					ĺ
		物質界面プロセス特論Ⅱ	3 - 4 - 54		1		1					ĺ
		物質エネルギー材料設計特論 I	3 - 4 - 5(1)		1			1				ĺ
		物質エネルギー材料設計特論Ⅱ	3 - 4 - 5(2)		1			1				ĺ
		環境エネルギーシステム特論I	3 - 4 - 5(3)		1		1					ĺ
		環境エネルギーシステム特論 Ⅱ	3 · 4 · 5@		1		1					ĺ
							4	1		i	1	1
		生物相互作用システム特論Ⅰ	3 - 4 - 5(1)		1		1					

	1			i			i	
	土壤生態系機能解析特論 I	3 - 4 - 5(3)		1	1			
	土壌生態系機能解析特論Ⅱ	3 • 4 • 5(4)		1	1			
	生物資源循環制御特論 I	3 • 4 • 5(1)		1		1		
	生物資源循環制御特論 Ⅱ	3 - 4 - 5(2)		1		1		
	バイオセンシング特論 I	3 - 4 - 5(3)		1		1		
	バイオセンシング特論Ⅱ	3 - 4 - 5(4)		1		1		
	環境分子動態学特論 I	3 • 4 • 5(1)		1		1		
	環境分子動態学特論Ⅱ	3 - 4 - 5(2)		1		1		
+ +	キャリア開発プログラム I	1①~②	2					兼1
- 11	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2					兼1
ラ開ム発	キャリア展開プログラム I	13~4		1				兼1
発プ	キャリア展開プログラムⅡ	2①~(2)		1				兼1
ロ グ	キャリア展開プログラムⅢ	23~4		1				兼1
		1 - 2 -						
	実践型インターンシップ(企業連携)	3·4·5 ①~④		2				兼1
	企業共同研究	3 • 4 • 5		2				兼1
		13~		-				, III
	国際インターンシップ特論事前学習	40. 2·3·		1				兼1
		4 · 5① ~④						
社	man a company	13~ 4. 2·3·						- Mr. 4
会 交 流	国際インターンシップ実習!	4 · 5① ~④		1				兼1
流科		1(3)~						
B	国際インターンシップ実習Ⅱ	4. 2 · 3 · 4 · 5①		1				兼1
		~@ 1(3)~						
	国際インターンシップ特論事後学習	4). 2 · 3 · 4 · 5①		1				兼1
		4 · 5① ~④						
	政策提言 I	3·4·5 ①~④		1				兼1
	政策提言Ⅱ	3 - 4 - 5		1				兼1
		1)~4						-
研	研究指導A	1①~④	2		4	4		兼2
究 指	研究指導B	1(3)~ (4)· 2(1)~(2)	2					兼10
導	研究指導C		2					兼10
		2①~④			_	_		
セミ	研究成果発表I	1①~②	1		4	4		兼2
+	研究成果発表Ⅱ	13~4	1		4	4		兼2
	研究成果発表Ⅲ	2①~②	1					兼2
成 果	研究成果発表Ⅳ	23~4	1		4	4		兼2
発 表	実践的英語研究成果発表I	3(4)	2		4	4		兼2
-	実践的英語研究成果発表 Ⅱ	44	2	<u> </u>	4	4	<u> </u>	兼2
	グリーンクリーン食料生産特論[3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 II	3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
		3 - 4 - 5		0				36 1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	①~④		2				兼1
専	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3 · 4 · 5 ①~④		2				兼1
門 科	海外研究留学 I	3 · 4 · 5		1				兼1
目		①~④ 3·4·5						
	海外研究留学 Ⅱ	3·4·5 ①~④		1				兼1
	海外研究留学皿	3(3)~ (4), 4·5(1)		1				兼1
		~4						AIN!
	海外研究留学IV	3(3)~ (4), 4·5(1)		1				兼1
		~4						
1	イノベーション推進特別講義I	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
7	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
Î		()~(Z)						
イノベーション科	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3·4·5 ①~②		1				兼1
ン 科	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3·4·5 ③~④		1				兼1
目	イノベーション推進特別講義 V	3 - 4 - 5		1				phic 4
I	17 ノハーンヨン推進特別講義 ♥	3~4		1				兼1

	実践的英語プレゼンテーション I	14	1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	24	1		4	4		兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~④		1	4	4		兼2
	国際交流ワークショップ	1①~④		2				兼1
国	国際ディベート演習	1 · 2 · 3 · 4 · 5 (3)~(4)		1				兼1
国 際 科 目	国際コミュニケーション演習 I	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
	国際コミュニケーション演習 Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
	国際コミュニケーション演習皿	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅳ	1 · 2 · 3 · 4 · 5 ①~②		1				兼1

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成27年度】

```
・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム農学基礎Ⅲ」を追加。
 · 4学期制対応のため「食料エネルギーシステム農学基礎IV」を追加。
・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム工学基礎Ⅲ」を追加。
・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム工学基礎Ⅳ」を追加。
 ・教育効果を高めるため「環境経済学Ⅱ」の配当年次を「1·2·3①~②」から「1·2·3③~④」に変更。
・教育効果を高めるため「River April」の配当エスを「12.50」でで)」に変更。
・教育効果を高めるため「Introduction to Environmental Accounting」の配当年次を「1.2.3③~④」から「1.2.3①~②」に変更。
・教育内容充実のため「日本の環境法」を追加。
・教育内容充実のため「環境マーケティング」を追加。
・教育内容充実のため「持続可能社会政策論」を追加。
教育内容充実のため「環境政策形成論」を追加。教育内容充実のため「環境と経済制度」を追加。教育内容充実のため「生物と環境」を追加。
   教育内容充実のため「Green Marketing」を追加。
 ・教育内容充実のため「Japanese Enviromental Law」を追加。
・教育内容元実のため「Vapariese Environmental Law」を追
・教育内容充実のため「GSR経営」を追加。
・教育内容充実のため「環境リスクマネジメント」を追加。
・教育内容充実のため「国際環境法」を追加。
・教育内容充実のため「環境工学」を追加。
 ・教育内容充実のため「途上国の環境と開発」を追加。
 ・教育内容充実のため「Enviroment and Supply Chain Management」を追加。
・教育内容充実のため「Recycling Systems in Asia」を追加。
・教育内容充実のため「Global Enviroment Outlook」を追加。
・教育内容充実のため「Energy and Enviromental Technology」を追加。
・教育内各元美のため「Artistic Impression/Expression」の配当年次を「2·3·4·5①~④」から「2·3①~④」に変更。
・教育効果を高めるため「Artistic Impression/Expression」の配当年次を「1·2③」から「1·2①」に変更。
・教育効果を高めるため「科学英語リーディング特論I」の配当年次を「1·2④」から「1·2①」に変更。
・教育効果を高めるため「科学英語リーディング特論II」の配当年次を「1·2④」から「1·2②」に変更。
・教育効果を高めるため「English Writing and Ethics」の配当年次を「2①~②」から「1·2·3·4①~④」に変更。
・教育効果を高めるため「English Writing and Ethics」の配当年次を「2(1)~(2)」から「1・2・3・4(1)~4学期制対応のため「物質界面プロセス特論」を「物質界面プロセス特論 I」に変更。
・4学期制対応のため「物質エネルギー材料設計特論」を「物質エネルギー材料設計特論 I」に変更。
・4学期制対応のため「物質エネルギー材料設計特論」を追加。
・4学期制対応のため「環境エネルギーシステム特論」を追加。
・4学期制対応のため「環境エネルギーシステム特論」を追加。
・4学期制対応のため「環境エネルギーシステム特論」を追加。
・4学期制対応のため「生物相互作用システム特論」を追加。
・4学期制対応のため「生物相互作用システム特論 I」を追加。
・4学期制対応のため「生物相互作用システム特論 I」を追加。
・4学期制対応のため「生物相互作用システム特論 I」を追加。
・4学期制対応のため「生物相互作用システム特論 I」を追加。
- 4学期制対応のため「土壌生態糸機能解析特論」を「土壌生態糸機能解析特論」」に変・4学期制対応のため「土壌生態系機能解析特論」」を追加。
- 4学期制対応のため「生物資源循環制御特論」を「生物資源循環制御特論」」に変更。
- 4学期制対応のため「バイオセンシング特論」を「バイオセンシング特論」」に変更。
- 4学期制対応のため「バイオセンシング特論」を追加。
- 4学期制対応のため「バイオセンシング特論」を追加。
- 4学期制対応のため「環境分子動態学特論」を「環境分子動態学特論」を「環境分子動態学特論」を「環境分子動態学特論」を「現境分子動態学特論」を「現境分子動態学特論」を追加。
 ・教育内容充実のため「政策提言」を「政策提言 I」に変更し、単位数を2単位から1単位に変更。
・教育内容允美のたの「岐末提言」と「岐末提言」」に変更し、単位数で2年12から1年12に変更。
・教育内容充実のため「政策提言Ⅱ」を追加。
・教育効果を高めるため「実践的英語研究成果発表Ⅰ」の配当年次を「33~40」から「340」に変更。
・教育効果を高めるため「実践的英語研究成果発表Ⅱ」の配当年次を「43~40」から「440」に変更。
・教育効果を高めるため「実践的英語プレゼンテーションⅠ」の配当年次を「13~40か」ら「140」に変更。
・教育効果を高めるため「実践的英語プレゼンテーションⅡ」の配当年次を「23~40」から「240」に変更。
・教育効果を高めるため「国際交流ワークショップ」の配当年次を「1・2・3・4・50~40」から「10~40」に変更。
```

【平成28年度】

・教育効果を高めるため「International Enviromental Treaties」の配当年次を「1・2・3①~②」から「1・2・3③~④」に変更。
・教育効果を高めるため「環境と消費」の配当年次を「1・2・3③~④」から「1・2・3①~②」に変更。
・教育効果を高めるため「Environment and Development in Developing Countries」の配当年次を「1・2・3③~④」から「1・2・3①~②」に変更。
・教育効果を高めるため「国際環境法」の配当年次を「1・2・3②~④」から「1・2・3①~②」に変更。
・教育内容の充実のため「循環型社会形成・廃棄物対策論」を追加。
・教育内容の充実のため「環境行政論」を追加。
・教育内容の充実のため「環境行政論」を追加。
・教育内容の充実のため「ジェンダーと環境」を追加。
・教育内容の充実のため「Enviromental Administration」を追加。
・教育内容の充実のため「Ecology and the Enviroment」を追加。
・教育内容の充実のため「Chemical Substances and the Environment」を追加。
・教育内容の充実のため「Climate Change Policy」を追加。
・教育内容の充実のため「Climate Change Policy」を追加。
・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅱ」を追加。
・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅲ」を追加。
・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅲ」を追加。
・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅲ」を追加。

【平成29年度】

- ・講義の実態に合わせるため上智大学大学院地球環境科学科開放科目77科目の名称を「上智大学大学院地球環境科学科開放科目 I ~VI」に変
- 更。 ・ ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「Artstic Impression/Expression」から「芸術表現」に変更し、単位数を1単位から2単位に変
- ·講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「English Writing and Ethics」から「英文ライティング・研究倫理」に変更。

【平成30年度】

- ・職位の変更により、「物質エネルギー設計特論Ⅰ」及び「物質エネルギー設計特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」 に変更。
- ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「生物情報計測システム特論Ⅰ」から「生体情報計測システム特論Ⅰ」に変更。 ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「生物情報計測システム特論Ⅱ」から「生体情報計測システム特論Ⅱ」に変更。
- ・職位の変更により、「生体情報計測システム特論I」及び「生体情報計測システム特論II」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授
- ・職位の変更により、「物質エネルギー材料設計特論Ⅰ」及び「物質エネルギー材料設計特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から 「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「バイオセンシング特論 I」及び「バイオセンシング特論 I」の専任教員等の配置を「准教授 1」から「教授 1」に変 更。
- 「研究指導A」、「研究指導B」、「研究成果発表Ⅰ」、「研究成果発表Ⅱ」、「研究成果発表Ⅲ」、 「究成果発表Ⅰ」、「実践的英語研究成果発表Ⅱ」、「実践的英語プレゼンテーションⅠ」、「実践的 「研究成果発表 TV」、「実践的英語研究成果発表Ⅰ」、「実践的英語研究成果発表Ⅱ」、「実践的英語プレゼンテーションⅠ」、「実践的英語プレゼンテーションⅡ」、「実践的英語プレゼンテーションⅢ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4」から「教授6、准教授2」に変更。 「実践的英語プレゼンテ
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更状	況		備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	1 用 右
13 科目	119 科目	0 科目	132 科目	13 科目	89 科目 [△30]	0 科目 [0]	102 科目 [△30]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	132	_	0 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				7	~~~~			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の				計	
+ /		校 쇩	豪敷 均	t		237, 007 m		()m²		0	m²		237, 007	m
校		運動	場用地	!		46, 341 m		()m²		0	m ²		46, 341	m
地		小	計	-		283, 348 m		()m²		0	m²		283, 348	m
等:		そ	の他	ļ.		180, 899m²		()m²		0	mi		180, 899	m
		合	計	-		464, 247 m		()m²			m²		464, 247	m
					専	用	共	用		共用する 学校等の				計	
(2) 校			舎			131, 288㎡ 128, 183 ㎡		()m²		0	m²		131, 288 128, 183	
						, 288㎡) , 183㎡)	(0 m ²;) (0m³)			, 288㎡) , 183㎡)	建設のため (30)
				講	義室	演	習室	実験乳	官習室	情報処	1理学習	施設	語	学学習施設	大学全体
(3) 教		室	等		7	7室	45室	5	13 503 室			10室		0	室建物の一部改修の
					,	, <u>*</u>	+0 <u>+</u>	V	10 000 =		職員 3	3人)	(補助	助職員 0人	ため (30)
(4) 専	任教	复研究	室				(中田利益				室		数		
					食	生物システ. 料エネルギー: -					8			室	
		斤設学 語	収生	[3	图 書	学術	f雑誌			- 視聴覚	資料	機械・	器具	標本	
(5)	45	の名和		(う	ち外国書〕		「書国枠	電子ジャ							大学全体での共用分
				530 48	2 [176, 33	∰ 81 14 174	種 1 [7,038]			2, 9	92		点		点
書	生物シ 食料コ	ノステム応 ニネルギー 科学専!	システム	543, 27	3 [178, 96	14, 178	3 [7, 031]	7, 043 [2, 9	98	, ,	0	, ,	0図書等の購入計画を
• 設 備		1111111	^		63 (175, 906) 2 [176, 33		(7, 025)) (7, 038)	(7, 128 [(2, 9 2, 9		(0)	(0) 見直したため (30)
VH		計			3 [178, 96- 63 [175, 906]		3 [7, 031] [7, 025])	7, 043 [(2, 9)		(0	0	(0	0
				(027, 0	面	積	(7,023) /	閲覧座	-	(2, 9	·	納口			大学全体、図書スペースの
(6) 図		書	館			6, 90	7m²	Pol 35 12	_ /// 20	897 882	- '10	44.7	. 110		89 利用方法を見直したため (30)
					面	積			体育館以		ーツ施	設の概要	要		
(7) 体		育	館			2, 47	7m² -	テニスコー	+	武道	場	ゴ	ルフ	練習場ほな	— \ 大学全体
		ᄵᇴᇏ	Σ	ζ.	分	開設年度	完成年月	度 区	分	開設前	ī年度	開設年	F度	完成年度	
(8)			教員 1	人当り	研究費等	千円	=	f円 図書	購入費		千円		千円	Ŧ	円 国費 (運営費交付金
経費の 積り及	見 2び	積り	共 同	研 3	克費等	千円	=	F円 設備	購入費		千円		千円	Ŧ	円による)
維持方 の 概	法要	学生 1		第	1 年次	第2年次	第	3年次	第4年	手次	第 5	5年次		第6年次	
		納付			千円	=	f円	千円		千円		千	Ħ	Ŧ	円
		学生	納付金	以外の紅	維持方法の	概要									

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東	京農	工大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年	人			人		倍						
農学部													
生物生産科学科	4	57	_		228	学士 (農学)	1. 05	平成16年度	東京都府	中市幸	声町三丁目		
応用生物科学科	4	71	_			(展子) 学士 (農学)	1. 09	平成16年度					
環境資源科学科	4	61	_		244	学士(農学)	1. 03	平成16年度	同上				
地域生態システム学科	4	76	_		304	学士 (農学)	1. 05	平成16年度	同上				
共同獣医学科	6	35	_		210	学士 (獣医学)	1. 11	平成24年度	同上				
獣医学科	6	_	_		_	学士 (獣医学)	_	平成16年度	同上			平成24年度 集停止	より学生募
工学部													
生命工学科	4	77	11		330	学士 (工学)	1. 03	平成16年度	東京都小田の4番	金井市	5中町二丁 ₹		
応用分子化学科	4	46	5			(エ子) 学士 (工学)	1. 02	平成16年度		107	Ŧ		
有機材料化学科	4	41	5		174	学士 (工学)	1. 08	平成16年度	同上				
化学システム工学科	4	35	5		150	、一 学士 (工学)	1. 02	平成16年度	同上				
機械システム工学科	4	116	16		496	学士 (工学)	1.06	平成16年度	同上				
物理システム工学科	4	56	_		224	学士 (工学)	1.06	平成16年度	同上				
電気電子工学科	4	88	20		392	学士 (工学)	1. 02	平成16年度	同上				
情報工学科	4	62	8		264	学士 (工学)	1. 03	平成16年度	同上				
工学府(博士前期課程)													
生命工学専攻	2	58	_		116	修士(工学 又は学術)	1. 06	平成16年度	東京都小目24番		5中町二丁 3		
応用化学専攻	2	78	_			修士 (工学 又は学術)	1. 00	平成16年度		107	,		
機械システム工学専攻	2	70	_		140	修士(工学 又は学術)	1. 04	平成16年度	同上				
物理システム工学専攻	2	26	_		52	修士(工学 又は学術)	1. 05	平成16年度	同上				
電気電子工学専攻	2	66	_		132	修士(工学 又は学術)	1. 05	平成16年度	同上				
情報工学専攻	2	42	_		84	修士(工学 又は学術)	1. 07	平成18年度	同上				
工学府(博士後期課程)													
生命工学専攻	3	14	_		42	博士(工学 又は学術)	0. 97	平成16年度	東京都小目24番		5中町二丁 3		
応用化学専攻	3	14				文は字術) 博士(工学 又は学術)	1. 14	平成16年度	日24番	ıσĘ	7		
機械システム工学専攻	3	13	_			博士(工学 又は学術)	1. 32	平成16年度	同上				
電子情報工学専攻	3	19	_			博士(工学 又は学術)	0. 75	平成16年度	同上				

1	ı	I	ı	ı		1		1	ı ı
工学府(専門職学位課程) 産業技術専攻	2	40	_	80	技術経営修士 (専門職)	0. 92	平成23年度	東京都小金井市中町二丁 目 2 4 番 1 6 号	
農学府(修士課程)									
生物生産科学専攻	2	27	_	54	修士(農学 又は学術)	1. 24	平成16年度	東京都府中市幸町三丁目 5番8号	
共生持続社会学専攻	2	12	-	24	修士(農学 又は学術)	0. 91	平成16年度	同上	
応用生命化学専攻	2	30	-	60	修士(農学 又は学術)	1. 30	平成16年度	同上	
生物制御科学専攻	2	20	-	40	修士(農学 又は学術)	1. 17	平成16年度	同上	
環境資源物質科学専攻	2	11	-	22	修士(農学 又は学術)	1. 76	平成16年度	同上	
物質循環環境科学専攻	2	17	-	34	修士(農学 又は学術)	0. 99	平成16年度	同上	
自然環境保全学専攻	2	19	-	38	修士(農学 又は学術)	1. 04	平成16年度	同上	
農業環境工学専攻	2	10	-	20	修士 (農学 又は学術)	0.80	平成16年度	同上	
国際環境農学専攻	2	28	-	56	修士 (農学 又は学術)	1. 01	平成16年度	同上	
農学府(博士課程) 共同獣医学専攻	4	10	_	10	博士 (獣医学)	1. 10	平成30年度	東京都府中市幸町三丁目 5番8号	
生物システム応用科学府 (博士前期課程) 生物機能システム科学専攻 生物システム応用科学専攻	2	59 —	- -	_	修士(エ 学学学文 (学学文 は修士(農 (学学) (学学文 (学学文)	1. 09 —	平成27年度 平成16年度	東京都小金井市中町二丁 目 2 4番 1 6号 同上	平成27年度より学生募 集停止
生物システム応用科学府									
(博士後期課程)					+				
生物機能システム科学専攻	3	12	-	36	博士(エ 学、農学又 は学術) 博士(エ	1. 16	平成27年度	東京都小金井市中町二丁 目 2 4 番 1 6 号	
生物システム応用科学専攻	3	-	-	<u> </u>	学、農学又 は学術)	_	平成16年度	同上	平成27年度より学生募 集停止
生物システム応用科学府 (一貫制博士課程) 食料エネルギーシステム科学専攻	5	10	_	50	博士 (工 学、農学又 は学術)	1. 20	平成27年度	東京都小金井市中町二丁 目 2 4番 1 6号	
生物システム応用科学府(博士課程)									
共同先進健康科学専攻	3	6	-	18	博士 (生命科学)	0. 60	平成22年度	東京都小金井市中町二丁 目 2 4番 1 6 号	

連合農学研究科(博士課程)								
生物生産科学専攻	3	15	_	45	博士(農学 又は学術)	1. 19	平成19年度	東京都府中市幸町三丁目 5番8号
応用生命科学専攻	3	10	_	30	博士 (農学 又は学術)	0. 36	平成19年度	同上
環境資源共生科学専攻	3	10	_	30	博士(農学 又は学術)	0. 96	平成19年度	同上
農業環境工学専攻	3	4	_	12	博士 (農学 又は学術)	1. 75	平成19年度	同上
農林共生社会科学専攻	3	6		18	博士(農学 又は学術)	1.00	平成19年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻(一貫制博士課程)>

(1)一①担当教員表

(1)	-1	担当教員表														
【認可 専任・	可時又	は届出時】		成27			戊28		1		戊29:		ſ	【 平月 専任・	t3 0:	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		^{専任・} 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名	ı			担当授業科目名
		神谷秀博 (56)			神谷秀博 (56)			神谷秀博 (57)				神谷秀博 (58)	I			神谷秀博 (59)
専任	教授	マ	専任	教授	《平成27年4月》 物質エネルギーシステム特 制計 物質計画ブロセス特論 物質計画ブロセス特論 研究成果発表 II 研究成果発表 II 研究成果発表 II 研究成果発表 II 研究成果発表 II 研究成果発表 II 研究成果発表 II 研究成果発表 II 实践的英語研究成果発表 II 实践的英语可见成果系表 II	専任	教授	《平成27年4月》 物質エネルギーシステム 特論は 物質エネルギーシステム 特論は 物質界面プロセス特論は 物質界面プロセス特論は 研究批準券表 I 研究化準券表 I 研究化準券表 I 研究化準券表 I 研究化準券表 I 研究化準券表 I 実施的英語研究成果免表 I 実施的英語研究成果免表 I 実施的英語研究成果免表		専任	教授			専任	教授	マ
		実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションエ			ションI 実践的英語プレゼンテー ションⅢ 実践的英語プレゼンテー ションⅢ			実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションⅢ				実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションII 実践的英語プレゼンテーションII				実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションII 実践の英語プレゼンテーションII
		富永洋一 (42) <平成27年4月>			富永洋一 (42) <平成27年4月>			富永洋一 (43) (平成27年4月>				富永洋一 (44) (平成27年4月>				富永洋一 (45) <平成27年4月>
		物質エネルギー設計特論I 物質エネルギー設計特論 II 物質エネルギー材料設計 特論			物質エネルギー設計特論! 物質エネルギー設計特論!! 物質エネルギー材料設計 特論!			物質エネルギー設計特論 I 物質エネルギー設計特論 II 物質エネルギー材料設計 物質エネルギー材料設計 物質エネルギー材料設計				物質エネルギー設計特論! 物質エネルギー設計特論! !! 物質エネルギー材料設計 特論! 物質エネルギー材料設計				物質エネルギー設計特論! 物質エネルギー設計特論 !! 物質エネルギー材料設計 特論! 物質エネルギー材料設計
専任	准教 授	特爾 研究抗果発表 I 研究成果発表 I 研究成果発表 I 研究成果発表 I 研究成果免表 I I I E E E E E E E E E E E E E E E E E	専任	准教 授	物質エネルギー材料設計 特論II 研究指導A 研究成果発表 I 研究成果発表 I 研究成果発表 I 研究成果発表 I 研究成果免表 I 実践的英語研究成果発表 I 実践的英語研究成果発表 I	専任	准教 授	報算エイルナー 4 科 版 II 特		専任	准教 授	報告 エイル・ 特		専任	教授	物はイイン・イヤー イヤ (本)
		実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションI 実践的英語プレゼンテーションII 実践的英語プレゼンテーションII			実践的英語プレゼンテーション「 実践的英語プレゼンテーションエ 実践的英語プレゼンテーションⅢ ションⅢ			II 実践的英語プレゼンテー ションI 実践的英語プレゼンテー ションII 実践的英語プレゼンテー ションII				II 実践的英語プレゼンテー ションI 実践的英語プレゼンテー ションII 実践的英語プレゼンテー ションII				II 実践的英語プレゼンテー ションI 実践的英語プレゼンテー ションII 実践的英語プレゼンテー ションII
専任	教授	秋澤淳 (53) 《平成27年4月》 エ本ルギーシステム解析 「特論1 エ本論11 エ本論11 エ本論11 エ本論11 エ本論11 エ本論11 東発表 ま I 研研究成成業業業 1 研研究成成業業業 1 乗換表表 I 財研究の成成 果 果 チーショ 2 東 2 アーショ 2 東 3 アーショ 3 アーショ 3 アーショ 5 アーシ	専任	教授	秋澤淳 (53) 《平成27年4月> エネルギーシステム解析特 論! エネルギーシステム 解析特 調は1 本ルギーシステム 特別の 研究成成業免表 I 研究成成業免表 I I での の の の の の の の の の に の に に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	専任	教授	秋(漂淳 (54) 《平成27年4月》 エネルギーシステム解析 特論1 エネルギーシステム解析 特論1 エネルギーシステム 特論1 エネルギーシステム 特別 (14) 「新文成集争表表」 研究成集争表」 研究成集争表」 研究成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪成集争表」 「大阪の大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、大阪、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工、工工		専任	教授	秋(第5)		専任	教授	秋澤淳 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)
専任	教授	佐藤令一(58) (58) (58) (70) (58) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70	専任	教授	佐藤令一(58) 《平成27年4月> 金料学特論 金料学特論 金物相互作用システム特論 金物相互作用システム特論 金物相互作用システム特論 金物相互作用システム特験 研究院成果発表 研究院成果発表 I 研研究院成果美美語語 が研究院成果美美語語語 が研究院成果美美語語語 が研究院成果美美語語語 が レゼンテーション東ション第29間 語話 プレゼンテーション東ション第20回20回20回20回20回20回20回20回20回20回20回20回20回2	専任	教授	佐藤令一 (59) (59) (70) (59) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70		専任	教授	佐藤令一(60) (60) (70) (70) (70) 全科安全を発料を持続。 全科安全を科料学等特益。 (10) 全科科学等特益。 (11) (12) (13) (14)		専任	教授	佐藤令一(61) 《平成27年4月> 食料安全を料料学特論! 食料等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
専任	教授	担当要 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	専任	教授	担当要年期日名 豊田剛己 (49) 《平成27年4月> 生態系型環境システム特論 生態系型環境システム特論 1生態系型環境システム特論 11、生態系型環境システム特論 11、生態系で表表 11、生態系で表表 11、対象を表表 11、対象を表 11、対象	専任	教授	担当授業科目名 豊田剛己 (50) 《平成27年4月》 生態系型環境システム特論性態系型環境システム特論性態系型環境システム特論性態系型環境システム特質死抗薬等表式取得死抗薬素等表式取得死抗薬素等表式取得死抗液素等表式取得死抗液素等表式取分抗液素等系式取分抗液素等系式取分抗液素等系式取分抗液素等系式取分抗液素等系式取分抗液素等。以下表面的表面、可止性ンテーションは、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、表面、	専任	教授	担当授業科目名 豊田剛己 (51) 《平成27年4月》 生態系型環境システム特論1態計画・報告を表現環境・システム特論計画・報告を表現環境・システム特論1態計画・報告を表現で研究の成果業務を表現工研研究の成果業務表表工工研研究の成果業務表表工工研研究の成果素を表表工工研研究の成果素を表表に変更を表表、工研研究の成果、発表、実践践的ン的を正表にある。 東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東	専任	教授	担当授業科目名 豊田別己 「(57年4月) 生態系 型環境システム特 諸・服系 型環境システム特 諸・服系 型環境システム特 諸・服系 型環境・システム特 諸・服系 型環境・システム特 は一、大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
専任	准教授	梅澤泰史 (41) 《平成27年4月》 生物応答制御科学特論1 生物応答制御科学特論1 生物応答影循環制御特論 研究成果果発表 I 研研究成果果発表表II 研研究成果果発表表II 展表 I 実践的 英 景語 語 研 究成果 発 表 I 実践 的 英 宗	専任	准教授	梅澤泰史 (41) 《平成27年4月> 生物応答制御科学特論! 生物広答制御科学特論! 生物方形制御科学特論! 生物方形制御科学特論! 生物資源國理制御特體! 任何安成果免表工I 研究成果免表工I 研究成果免表工I 研究成果免表工I 研究的英語研究成果免表工 変質的英語研究成果免表工 変質的英語可以ゼンテー ション耳 ション耳 ション耳 ション耳 ション エ テ テ ション エ テ テ テ ション エ テ テ テ ション エ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ テ	専任	准教授	梅澤泰史 (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42)	専任	准教授	梅澤泰史 (43) 《平成27年4月> 生物応答制御科学特論! 生物応答制御科学特論! 生物応答制御科学特論! 生物定為制御科学特論! 生物定為理解例和時期! 研究抗凍集免表! 「研究抗凍集免表! 実践的変混集発表! 実践的英語研究成果免表! 実践的英語が欠成果免表! 実践的英語が欠成果免表 「実践的英語が欠成果免表」 実践的英語がしゼンテーシ実践の対策語プレゼンテーション英語プレゼンテーショと表	専任	准教授	梅澤泰史 (44) 《平成27年4月> 生物応答制御科学特論! 生物応答制御科学特論! 生物応答制御科学特論! 生物定署領域制等論! 生物定署領域制等論! 「研究抗果集発表! 「研究抗果集発表! 「研究疾尿果発表! 「実践の英語研究成果免表! 「実践の英語研究成果免表! 「実践のブレゼンテーシ実践の工芸語プレゼンテーショ発語プレゼンテーショ発語プレゼンテーショ発語プレゼンテーショと表述の工芸語プレゼンテーションの英語プレゼンテーションの英語
専任	准教授	桝田児司 (46) 《平成27年4月> 生物情報計測システム特 論計 生物情報計測システム特 論計 生物情報計測システム特 論が収入成果果発表 I 研研究成果果発表表 I 研研究成果果発表表 I 研研究成果果発語 語 語 ゴ レゼンテーショ と まままま I 実践 ロ レゼンテーショ に 実践 I J レゼンテーショ に 野田 アーラーショ に まままま I J レゼンテーショ に まままま I J レゼンテーショ に ままままま I J レゼンテーショ に ままままま I J レゼンテーショ に ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	専任	准教授	神田晃司 (46) (46) (46) (46) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	専任	准教授	桝田晃司 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	専任	准教授	桝田晃司 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)	専任	教授	株田児司 (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49)
専任	准教授	赤井伸行 (39) 《平成27年4月> 「現成27年4月> 「現成27年4月> 「現成27年4月> 「現成27年4月> 「現成27年4月> 「現成27年4月> 「現成27年3年 「中央 19 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	専任	准教授	赤井伸行 (39) 《平成27年4月> 環境モニタリングシステム特論! 環境・ニタリングシステム特論! 環境・ニタリングシステム特別 (19) 環境分子導入事態・特論! 環境分子導入表表III 研究院成果発表表III 研究院成果発表表III 研究院成果発表研究成果発表III 新聞的英語語 レゼンテーション・ 実践可)的 II ま コレゼンテー 実践の エリウェー 実践の エリー	専任	准教授	赤井伸行 (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40)	専任	准教授	赤井伸行 (41) 《平成27年4月> 環境電話 (41) 《平成27年4月> 環境電話 (41) 環境電話 (41) 環境電話 (41) 環境電話 (41) 環境電話 (41) 環境電話 (41) 電視電話 (41) 電話	専任	准教授	赤井伸行 《平成27年4月> 《平成27年4月> 《平成27年4月> 環境電池 マリングシステム特場第二二タリングシステム特場第一二月 マリングシステム特場第一式 マリングシステム特場第一式 マリングシステム特場第一式 マリングシステム マリングラン・ステム マリングシステム マリングラン・ステム マリングラン マリングラン・ステム マリングラン・ステム マリングラン・ステム マリングラン・ステム マリングラン・ステム マリングラン・ステム
兼担	准教授	川合 伸也 (51) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎!!	兼担	准教 授	川合 伸也 (51) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎II	兼担	准教授	川合 伸也 (52) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎II	兼担	准教 授	川合 伸也 (53) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎II	兼担	准教授	川合 伸也 (54) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎!!
			兼担	教授	千年 篤 (53) 〈平成27年4月〉 会料エネルギーシステム 農学基礎可 食料エネルギーシステム 農学基礎可	兼担	教授	千年 第 (54) 《平成27年4月》 食料エネルギーシステム 最学基礎加 食料エネルギーシステム 展学基礎IV	兼担	教授	千年 篤 (55) 《平成27年4月》 食料エネルギーシステム 農学基礎Ⅲ 食料エネルギーシステム 農学基礎Ⅳ	兼担	教授	千年 篤 (56) 〈平成27年4月〉 食料エネルギーシステム 農学基礎国 食料エネルギーシステム 農学基礎IV

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教 授	福澤 晋 (37) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム工学基礎I 食料エネルギーシス テム工学基礎II	兼担	准教 授	福澤 晋 (37) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テムエ学基礎! 食料エネルギーシス テムエ学基礎!!	兼担	准教 授	福澤 晋 (38) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テムエ学基礎! 食料エネルギーシス テムエ学基礎!	兼担	准教 授	福澤 晋 (39) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テムエ学基礎I 食料エネルギーシス テムエ学基礎II WULED LENGGORO	兼担	准教 授	福澤 晋 (40) <平成27年4月> 食料エネルギーシステム工学基礎! 食料エネルギーシステム工学基礎!
			兼担	准教授	WULED LENGGORO (43) <平成27年4月> 食料エネルギーシステム 工学基礎団 食料エネルギーシステム 工学基礎IV	兼担	准教授	WULED LENGGORO (44) <平成27年4月> 食料エネルギーシステム 工学基礎団 食料エネルギーシステム 工学基礎IV	兼担	准教授	(45) 〈平成27年4月〉 食料エネルギーシステム 工学基礎Ⅲ 食料エネルギーシステム 工学基礎Ⅳ	兼担	准教授	WULED LENGGORO (46) <平成27年4月> 食料エネルギーシステム 工学基礎Ⅲ 食料エネルギーシステム 工学基礎Ⅳ
兼担	准教授	坂根 シルック (52) 《平成27年4月〉 國際文化比較論及び日本 語表聚文化比較論及の日本 語表聚文化比較論及の日本 語表聚文化比較論及の日本 語表聚文化比較論及の日本 語表聚文化比較論組入の日本 語表現特論 記 の表現特論 記 の表現特論 記 の表現特論 記 の表現特論 記 の表現特論 記 の表現特論 に の表現特論 に の表現特論 に の表現特論 に の表現特 に の表現 に の	兼担	准教授	坂根 シルック (53) 《平成27年4月> 国際文化比較論及び日本語 表現特論: 国際文化比較論及び日本語 表現特論: 国際文化比較論及び日本語 表現特論: 国際支持能は、 国際支持能は、 のののでは、 ののでは、 の	兼担	准教授	坂根 シルック (54) 《平成27年4月〉 国際文化比較論及び日本 語表現特語 国際文化比較論及び日本 語表現特部 国際文化比較論及び日本 語表現特部 国際文化比較論及び日本 語表現特部 国際文化比較論及び日本 語表現特部 国際文化比較論及び日本 語表現特部 国際文品、 東京、 東京、 東京、 東京、 東京、 東京、 東京、 東京、 東京、 東京	兼担	准教授	坂根 シルック (シルック (シルック (マ 成 27年 4 月 > 国際支援で日本 諸表現特能 国際支援特能 国際支援特能 国際支援特能 国際支援特能 国際支援特能 国際支援特能 (アリーン のより、アリーン のより、アリー のより、アリーン のより、	兼担	准教授	坂根 シルック (566) 《平成27年4月〉 国際文化比較論及び日本 18表現や比較論及び日本 18表現や比較論及び日本 18表現や比較論及び日本 18表現や比較論及び日本 18表現や比較論及び日本 18表現や比較論及び日本 18表現や上較論と日本 18表現や上較論とは中 18表現や上 19世末日本 19世末日本 19世末日本
兼担	准教授	一條 洋子 (39) <平成27年4月> Artistic Impression/Expression English Writing and Ethics 政策提言 グリーンクリーン食料生産特論I	兼担	准教授	ー條 洋子 (39) <平成27年4月> Artistic Impression/Expression English Writing and Ethics グリーンク食料生産 特論」 軟質機貫!	兼担	准教授	一條 洋子 (40) 《平成27年 4月> Artistic Impression/Expression English Writing and Ethics グリーンクリーン食料生産特論 政策機能 数策機能 I	兼担	准教授	一條 洋子 (41) <平成27年4月> 芸術表現 英文ライティング・研究 倫理 グリーンクリーン食料生 成時機器 献業提賞1 歌業提賞1	兼担	准教授	一條 洋子 (42) <平成27年4月> 基備表現 英文ライティング・研究 倫理 グリーンクリーン食料生 産料施言! 取業機画! 取業機画!
兼担	准教授	梅村 尚子 (38) <(平成27年4月> キャリア開発プログラム 1 キャリア開発プログラム 1 カリアカラムの表示の一クショップ を特強III グリーン10 産特強III 産特強III 産特強III	兼担	准教授	梅村 尚子 (38) 《平成27年4月> キャリア開発プログラム I キャリア開発プログラム I 国際交流ワショップリーンクリッン 食料生産特論 III グリーンクリーン 食料生産特論 図 要 コニューケーション 漫画 コニューケーション 演画 ア	兼担	准教授	梅村 尚子 (39) (39) (平成27年4月> キャリア開発プログラム 1 キャリア開発プログラム 1 間際交流ワクシュッグ グリーション会科 を特強III のリーンを発生を特徴で 国際コミュニケーション ファリーンを対している。	兼担	准教授	梅村 尚子 (40) (40) キャリア開発プログラム I キャリア開発プログラム I リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼担	准教授	梅村 尚子 (41) (41) (平成27年4月> キャリア開発プログラム I キャリア開発プログラム I リー
兼担	教授	工藤 (63) (63) (63) (7年4月) キャリア 展 7 ブログラム キャリア 展開 ブログラム キャリア 展開 ブログラム ミャリア 展開 ブログラム は 1 キャリア 展開 ブログラム は 2 注意同次学の は 2 ジャンシップ ブログラム は 3 ジャンシップ ブラム は 3 ジャンシップ ブラム は 3 ジャンシップ ブラム は 4 ジャンシップ ブラム は 5 ジャンシップ ブラム は 5 ジャンシップ ブラム は 5 ジャンシップ ブラスト は 7 ジャンシップ ブラスト は 7 ジャン・スト は	兼担	教授	工 藤 (63) 《平成27年4月》 キャリア展開閉ブログラム I キャリア展開閉ブログラム II キャリア展開閉ブログラム II 1	兼担	教授	工藤 昭英 (64) (64) (64) (64) (64) (7年4月) (7年4月) (7年4月) (7年4月) (7年4月) (7年7月) (7年7月7月) (7年7月) (7年7月) (7年7月) (7年7月) (7年7月) (7年7月) (7年7月) (7	兼担	教授	工版 (65) (65) (65) (65) (65) (65) (65) (77) (65) (77) (77) (77) (77) (77) (77) (77) (7	兼担	教授	工藤 (66) 《平成27年4月》 キャリア展開プログラム 1 キャリア展開プログラム 1 キャリア展開プログラム 1 キャリア展開プログラム 2 大会業共同学のシップ (企業共同学のシップ (企業共同学の・ンシップ) 対
兼担	准教 授	馬場 眞知子 (64) 《平成27年4月》 日本語と日本の文化概論 日本語と日本の文化概論 11	兼担	准教 授	馬場 眞知子 (64) 《平成27年4月> 日本語と日本の文化概論 I 日本語と日本の文化概論 I			本郷 智子			本郷 智子			本郷 智子
						兼担	准教授	(55) 《平成28年4月》 日本語と日本の文化報論 I 日本語と日本の文化報論 11	兼担	准教授	(56) <平成28年4月> 日本語と日本の文化報論 I 日本語と日本の文化報論 II	兼担	准教授	(57) 《平成28年4月》 日本語と日本の文化概論 I 日本語と日本の文化概論 II
兼担	准教授	畠山 雄二 (48) <平成27年4月> 科学英語リーディング特 論II	兼担	准教 授	畠山 雄二 (48) <平成27年4月> 科学英語リーディング特論 I 科学英語リーディング特論 II	兼担	准教 授	畠山 雄二 (49) 〈平成27年4月〉 科学英語リーディング特論 科学英語リーディング特論11	兼担	准教 授	畠山 雄二 (50) 〈平成27年4月〉 科学英語リーディング特 論II	兼担	准教授	畠山 雄二 (51) <平成27年4月> 科学英語リーディング特 論1 科学英語リーディング特 論11

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >			職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	亲	専任・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
兼担	教授	担当授業科目名 干葉(55) <平成27年4月> 実践的英語研究成果免表 「誤的 東京語研究成果免表 「開始の表別の表別。」 「研究の成果免表 「開始の表別。」 「研究の成果免表 「明知の表別。」 「研究の成果免表 「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。」 「明知の表別。」 「明知の表別。「明知の表別。」 「明知の表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知の表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別の。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別。」 「明知のの表別	_	東担	3010	担当授業 科目名 干葉(55) 《平成27年4月》 来該(55) 《平成27年4月》 来該(55) 《平成27年4月》 来該(55) 《東東京 新聞 中央 東京 I 研究成果免表 I 研究 成果免表 I 研究 成果 免表 其 I 研究 於 成 東東 免表 其 研究 於 成 成果 免表 其 研究 於 成 成 果 免 表	兼担	教授	担当授業科目名 干葉 (56) 《平成27年4月》 来主 (56) 《平成27年4月》 来主 (1) 《 (1) 《 (2) 《 (2) 《 (3) 《 (4) 》 来 (1) 《 (3) 》 来 (1) 《 (4) 》 来 (4) 》 来 (4) 《 (4) 》 来 (4)	兼担	教授	担当接業 一格 干 (57) 《平成27年4月> 実践的英語研究成果免表 「親的 等別。 展 表表 「研究成成果免表」 研究成成果果免表 新導入 新學免表表」「研究成成研研究 成成學學完成成所研究 所以所述所述 所以所述所述 所以所述 所以所述 所以所述 所以所述 所述 所述 所述 所述 所述 所述 所述 所述 所述	-	兼担		担当 荣 本日名
兼担	教授	養王田 正文 (54) 《平成27年4月》 実践的英語研究成果免表 実践的英語研究成果免表 「研究成果免表 「研究成果免表 「研究成果免表」 研究成果免表 「研究成果免表」 研究成果免表 「研究成果免表」	· ·	東担	教授	養王田 正文 《平成27年4月> 《平成27年4月> 実践的英語研究成果免表 II 実践的英語研究成果免表 II 研究的课外表 II 研究成果免表 II 研究成果免表 II 研究成果免表 II 研究成果免表 II	兼担	教授	養王田 正文 《平成27年4月》 《平成27年4月》 東接的英語研究成果発表 『「東接的英語研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表 『研究成果発表』	兼担	教授	養王田 正文 (56) 《平成27年4月》 案践的英語研究成果発表 [実践的英語研究成果発表 [11		兼担		養王田 正文 (三年 (57) 《平成27年4月》 実践的英語研究成果発表 実践的英語研究成果発表 「研究成果発表」 研究成果発表」 研究成果発表」 研究成果発表」 研究成果発表」 研究成果発表」
兼担	准教 授	齋藤 守弘 (38) <平成27年4月> 研究指導B	隶	東担	准教 授	齋藤 守弘 (38) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	准教 授	齋藤 守弘 (39) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	准教授	齋藤 守弘 (40) 《平成27年4月》 研究指導B		兼担	准教授	齋藤 守弘 (41) <平成27年4月> 研究指導B
兼担	准教 授	中野 幸司 (37) <平成27年4月> 研究指導B	₹	東担	准教 授	中野 幸司 (37) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	准教 授	中野 幸司 (38) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼担	准教 授	中野 幸司 (39) <平成27年4月> 研究指導B		兼担	准教 授	中野 幸司 (40) <平成27年4月> 研究指導B
兼担	教授	藤井 義晴 (59) 〈平成27年4月〉	∄	東担	教授	藤井 義晴 (59) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	教授	藤井 義晴 (60) 〈平成27年4月〉	兼担	教授	藤井 義晴 (61) <平成27年4月> 研究指導B	-	兼担	教授	藤井 義晴 (62) <平成27年4月> 研究指導B
兼担	准教授	山田 哲也 (42) 〈平成27年4月〉 研究指導B	ŧ	東担	准教 授	山田 哲也 (42) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	准教 授	山田 哲也 (43) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼担	准教 授	山田 哲也 (44) <平成27年4月> 研究指導B		兼担	准教授	山田 哲也 (45) <平成27年4月> 研究指導B
兼担	教授	荻野 賢司 (51) 〈平成27年4月〉 研究指導B	ŧ	東担	教授	荻野 賢司 (51) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	教授	荻野 賢司 (52) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	教授	荻野 賢司 (53) <平成27年4月> 研究指導B		兼担	教授	荻野 賢司 (54) <平成27年4月> 研究指導B
兼担	准教授	杉原 創 (32) <平成27年4月> 研究指導B	}	東担	准教授	杉原 創 (32) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	准教 授	杉原 創 (33) <平成27年4月> 研究指導B	兼担	准教授	杉原 創 (34) <平成27年4月> 研究指導B		兼担	准教授	杉原 創 (35) <平成27年4月> 研究指導B
兼担	教授	高田 秀重 (55) <平成27年4月> 研究指導B	₹	東担	教授	高田 秀重 (55) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼担	教授	高田 秀重 (56) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼担	教授	高田 秀重 (57) <平成27年4月> 研究指導B		兼担	教授	高田 秀重 (58) 《平成27年4月》 研究指導B
兼担	教授	片山 葉子 (62) <平成27年4月> 研究指導C	}	東担	教授	片山 葉子 (62) <平成27年4月> 研究指導C	兼担	教授	片山 葉子 (63) <平成27年4月> 研究指導C	兼担	教授	片山 葉子 (64) <平成27年4月> 研究指導C		兼担	教授	片山 葉子 (65) <平成27年4月> 研究指導C
兼担	教授	清水 郁子 (42) 〈平成27年4月〉 研究指導C	ŧ	東担	教授	清水 郁子 (42) <平成27年4月> 研究指導C	兼担	教授	清水 郁子 (43) <平成27年4月> 研究指導C	兼担	教授	清水 郁子 (44) <平成27年4月> 研究指導C	-	兼担	教授	清水 郁子 (45) <平成27年4月> 研究指導C
兼担	講師	天竺桂 弘子 (36) <平成27年4月> 研究指導C	-	東担	講師	天竺桂 弘子 (36) <平成27年4月> 研究指導C	兼担	講師	天竺桂 弘子 (37) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼担	講師	天竺桂 弘子 (38) <平成27年4月> 研究指導C		兼担	講師	天竺桂 弘子 (39) <平成27年4月> 研究指導C
兼担	助教	山浦 紘一 (32) 〈平成27年4月〉 研究指導C	隶	東担	助教	山浦 紘一 (32) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼担	助教	山浦 紘一 (33) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼担	助教	山浦 紘一 (34) 〈平成27年4月〉 研究指導C		兼担	助教	山浦 紘一 (35) <平成27年4月> 研究指導C

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	100	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
兼担	教授	担当授業科目名 有江 カ(52) 〈平成27年4月> イノベーション推進特別講義 イノベーション推進特別調整 111 イノベーション推進特別調整 111 ペーション推進特別調義 Vイベーション推進特別調義 Vイベーション推進特別調義 V	兼担	教授	担当授業科目名 有江 カ(52) 〈平成27年4月〉 イノベーション推進特別議 着1イノベーション推進特別議 着1イノベーション推進特別議 着1イノベーション推進特別議 着1イノベーション推進特別議 着1イノベーション推進特別議 表1イノベーション推進特別議 表1イノベーション推進特別議	兼担	教授	担当授業科目名 有江 カ(53) 《平成27年4月> イバーション推進特別議義1・インペーション推進特別議義1・イン・ョン推進特別議義1・インペーション推進特別は表け、インペーション推進特別議義1・インペーション推進特別講義4・インペーション推進特別講義4・インペーション推進特別講義4・インペーション推進特別	兼担	教授	担当授業科目名 有江(54) (54) 〈平成27年4月> イノベーション推進特別講義11 イノベーション推進特別講義11 イメーション推進特別講点/ベーション推進特別講義2/ベーション推進特別講義V		兼担	教授	担当授業科目名 有江 カ (55)
兼担	教授	福原 敏行 (54) <平成27年4月> 異文化交流特論 I 異文化交流特論 I	兼担	教授	福原 敏行 (54) 《平成27年4月> 異文化交流特論 I 異文化交流特論 I										
						兼担	教授	戸田 浩人 (53) 《平成28年4月》 異文化交流特論 I 異文化交流特論 I							
									兼担	教授	渡辺 元 (59) 《平成29年4月》 異文化交流特論 I 異文化交流特論 I				
													兼担	教授	西河 淳 (60) 《平成30年4月》
兼任	講師	熊谷 日登美 (54) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎I	兼任	講師	熊谷 日登美 (54) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎!	兼任	講師	熊谷 日登美 (55) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎I	兼任	講師	熊谷 日登美 (56) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎!		兼任		熊谷 日登美 (57) <平成27年4月> 食料エネルギーシス テム農学基礎!
兼任	講師	櫻井 武司 (53) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼日	講師	櫻井 武司 (53) <平成27年4月> 研究指導B	兼任	講師	櫻井 武司 (54) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼任	講師	櫻井 武司 (55) <平成27年4月> 研究指導8		兼任	講師	櫻井 武司 (56) <平成27年4月> 研究指導B
兼任	講師	國澤 純 (40) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼日	講師	國澤 純 (40) <平成27年4月> 研究指導B	兼任	講師	國澤 純 (41) 《平成27年4月> 研究指導B	兼任	講師	國澤 純 (42) <平成27年4月> 研究指導B		兼任		國澤 純 (43) 〈平成27年4月〉 研究指導B
兼任	講師	池口徹 (45) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼日	講師	池口徹 (46) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼任	講師	地口徹 (47) 〈平成27年4月〉 研究指導B	兼任	講師	池口徹 (48) 〈平成27年4月〉 研究指導B		兼任	講師	池口徹 (49) 〈平成27年4月〉 研究指導B
兼任	講師	S. R. Waldvogel (42) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼日	講師	S. R. Waldvogel (42) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	S. R. Waldvogel (43) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	S. R. Waldvogel (44) <平成27年 4 月> 研究指導C		兼任		S. R. Waldvogel (45) <平成27年4月> 研究指導C
兼任	講師	宮武 健治 (45) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	宮武 健治 (45) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	宮武 健治 (46) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	宫武 健治 (47) <平成27年4月> 研究指導C		兼任	講師	宮武 健治 (48) <平成27年4月> 研究指導C
兼任	講師	土肥 多恵子 (49) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼日	講師	土肥 多恵子 (49) <平成27年4月> 研究指導C	兼任	講師	土肥 多恵子 (50) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	土肥 多恵子 (51) <平成27年4月> 研究指導C		兼任	講師	土肥 多恵子 (52) <平成27年4月> 研究指導C
兼任	講師	坂井 真紀子 (34) 《平成27年4月》 研究指導C	兼日	講師	坂井 真紀子 (34) 〈平成27年4月〉 研究指導C	兼任	講師	坂井 真紀子 (35) <平成27年4月> 研究指導C	兼任	講師	坂井 真紀子 (36) 《平成27年4月》 研究指導C		兼任	講師	坂井 真紀子 (37) 《平成27年4月》 研究指導C

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 >	兼兼	任・ 程 担・ 任)別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 >
兼任	講師	担当授業科目名 池本 良子 (57) 《平成27年4月> 研究指導C	兼任	講師	担当授業科目名 池本 良子 (57) 《平成27年4月> 研究指導C	3	兼任	講師	担当授業科目名	i	兼任	講師	担当授業科目名 池本 良子 (59) <平成27年4月> 研究指導C	兼任	講師	担当授業科目名 池本 良子 (60) 《平成27年4月> 研究指導C
兼任	講師	多田 安臣 (36) <平成27年4月> 研究指導C	兼任	講師	多田 安臣 (36) <平成27年4月> 研究指導C	3	兼任	講師	多田 安臣 (37) <平成27年4月> 研究指導C		兼任	講師	多田 安臣 (38) <平成27年4月> 研究指導C	兼任	講師	多田 安臣 (39) <平成27年4月> 研究指導C
兼任	教授	機 朱寶 (52) 《平成27年4月> Environmental Law International Comparative Studies for Environmental Policies	兼任	教授	機 朱 寶 (52) 《平成27年4月> Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Reoyoling Systems in Asia	****	兼任	教授	織 朱 寶 (53) 《平成27年4月> Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Recycling Systems in Asia		兼任	教授	織 朱 實 (54) 《 下成27年 4 月》 《 下成27年 4 月》 上 智大學大學院地球環境研究科科目 I 上智大學大學科目 I 工 古智大科學大學科目 I 工 古智大科學大學科 B 工 上智大科學大學科 B 工 上智大科學大學教 B 工 工 智大學大學教 B 工 工 包 大學 大學 B 工 工 工 包 大學 大學 B 工 工 工 包 大學 大學 B 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	兼任	教授	織 朱 實 (55) 《 (55) 《 (55) 《 (55) 《 (55) 《 (55) 《 (55) 《 (55) 《 (55) 》 《 (55
兼任	講師	木暮 啓 (60) 《平成27年4月>	兼任	講師	本暮 啓 (60) 《平成27年4月>	3	兼任	講師	本幕 啓 (61) 《平成27年4月》 環境マーケティング論	·	兼任	講師	本藝 啓 (年2) 《平成27年4月》 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境研究科研放科目目,上智大學大学院地球環境研究科研分大學院地球環境研究科研分大學院地球環境研究科研分大學院地球環境研究科研设大學大學大學的地球環境研究科研放科目取上智大學大學的地球環境研究科研放科目以上智大學大學的地球環境研究科研放科目以	兼任	講師	本暮 啓 (63) 《平成27年4月》 上管大學大學院地域環境研究科科學大學院地域環境研究科科目工上管实科學大學大學院地面環境研究科學大學大學院地面環境研究科學大學大學院地域環境研究科學大學院地域環境研究科學大學院地球環境研究大學大學院地球環境研究大學大學院地球環境研究大學大學院地球環境研究科學大學
兼任	准教授	FRANK Bjoern (35) 《平成27年4月》 Environment and Sustainable Lifestyles	兼任	准教授	FRANK Bjoern (36) 《平成27年4月> Environment and Sustainable Lifestyles 選挙するナティング Green Merketing CRME Environment and Supply Chain Management		兼任	准教授	FRANK Bjoern (37) 《平成27年4月> Environment and Suptainable Lifestyles 選挙を対すた。 「日本の日本体と同じない場合では、日本の日本体と同じない場合では、日本の日本体と同じない。」		兼任	准教授	FRANK Bjoern (38) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境研究科制放料目1 上智大學大学院地球環境研究科制大學大學院地球環境研究科制大學大學院地球環境研究科制大學大學院地球環境研究科制大學大學院地球環境研究科制放科目 [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]	兼任	准教授	FRANK Bjoern (39) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境研究科研放科目I上智大学大学院地球環境研究科研学大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學
兼任	教授	鷲田豊明 (59) 《平成27年4月》 環境経済学I 環境経済学I Environmental Economics	兼任	教授	鷲田豊明 (60) 《平成27年4月》 環境経済学I 環境経済学I Environmental Economics 環境と経済制度	3	兼任	教授	鷲田豊明 (61) <平成27年4月> 環境経済学I 環境経済学I 環境経済学I 度はiromental Economics 環境と総済制度		兼任	教授	第 田 豐明 (62) 《平成27年4月》 上個大學大學院始時環境 研究科關於科目 I 上個大學大學於始時環境 研究科關於科目 I 上個大學大學大學的地障環境 研究科關於科目 I 上個大學大學的地障環境 研究科關於科目 上個大學大學的地障環境 研究科關於科目 以上個大學大學的地障環境 研究科關於科目 以	兼任	教授	第 田 豐 明 (63) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究科研於科目 》 上等大学性地球環境 研究科研於科目 》 上等大学产院地球環境 研究科研於科目 》 上等大学院地球環境 研究科研放科目 》 上等大学院地球環境 研究科研放科目 》 「新聞」
兼任	講師	丸尾 聴 (40) 《平成27年4月> 環境ビジネス論	兼任	教授	丸尾 聴 (40) 《平成27年4月》	797	兼任	教授	丸尾 聴 (41) <平成27年4月> 環境ビジネス論		兼任	教授	丸尾。 (42) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境研究科開放科目 I 上智大学大学院地球環境研究科開放科目 I 上智大学大学院地球環境研究科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學	兼任	教授	丸尾 聰 (43) 《平成27年4月》 《平成27年4月》 上零大學大學院地球環境研究科開放科目I 上零大學大學院地球環境研究科開於科目I 上等大學大學大學的地球環境研究科開於科目I 上等大學大學的地球環境研究科開於科目的 上等大學大學的地球環境研究科開於科問於科目的 上等大學大學院地球環境研究科開於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於科問於
兼任	教授	柴田 晋吾 (46) <平成27年4月> 環境政策論 Environmental Resource Management Policy 森林環境政策 Global Forest Conservation Policy 環境政策と参加 Japan Experiences in Environmental Management	兼任	教授	柴田 晋吾 (46) 《平成27年4月》 環境政策論 Environmental Resource Management Policy 森林環境政策 Global Forest Conservation Policy 環境政策と参加 Japanese Experiences in Environmental Management	777	兼任	教授	柴田 晋吾 (47) <平成27年4月> 環境政策論 Environmental Resource Management Policy 森林環境政策 Global Forest Conservation Policy 環境政策と参加 Japaness Experiences in Environmental Management		兼任	教授	柴田 晋吾 (48) 《平成27年4月》 《平成27年4月》 上旬大学大学院地球環境研究科学大学大学科目 1 世界代学大学大学院地球環境研究科学大学科院地球環境研究大學科學大學大學院地球環境研究大學科學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大	兼任	教授	柴田 晋吾 (49) 《平成27年4月》 《平成27年4月》 上安大学大学院地球環境研究科博放科目 I 上驾光料产为关节院址 環境研究科学大学院地球環境研究科学大学产学院地址環境 经营税科学大学产龄地址環境 经营税科费大学大学院地址環境 经大学大学院地址環境 经未完全 医电影

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専信 兼担 兼任	∄· £	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
		柳下 正治 (67) <平成27年4月>			和 下 正治 (68) <平成27年4月>	-			和下 正治 (69) <平成27年4月>			和下 正治 (70) (平成27年4月>			型
兼任	講師	循環型社会政策論	兼任	講師	張瓄型社会政策論 持載可能社会政策論	兼	任	講師	循環型社会政策論 持続可能社会政策論 構理型社会形成・廃棄物 対策論	兼任	講師	上智大学大学院地球環境 研究科學技术學院 上智大學大學技術 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术 研究科學技术	兼任	善講師	上智大學大學院地球環境 研究科開放特目1 上智大學大學院地球環境 研究科開放特目1 研究科開放特目1 工學 表現開放 科目 1 工學 表現 1 工學 是 工學 是 工學 是 工學 是 工學 是 工學 是 工學 是 工學 是
		鈴木 政史 (39) <平成27年4月>			鈴木 政史 (40) <平成27年4月>				鈴木 政史 (41) <平成27年4月>			鈴木 政史 (42) <平成27年4月>			鈴木 政史 (43) <平成27年4月>
兼任	教授	International Environmental Treaties Business Strategies for Sustainability Strategie Environmental Management 環境・エネルギー技術論 環境経営学	兼任	教授	International Environmental Treaties Business Strategies for Sustainability Strategie Environmental Management 環境・エネルギー技術論 Environmental Technology	兼	任	教授	International Environmental Treaties Business Strategies for Sustainability Strategie Environmental Management 環境・エネルギー技術論 医神経学 Energy and Environmental Technology	兼任	教授	上管大學於地球環境 研究科開放科目I 上管大學於地球環境 研究科開放科目I 上等文學的地球環境 研究科開放科師II 研究科開放平開目取環境 研究科開放學院的 上等文件學的 上等文件學的 上等文件學的 工學文學, 工學工學, 工學工學 工學工學, 工學工學 工學工學 工學工學工學 工學工學工學工學	兼任	÷ 教授	上智大學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科開放科目I 上智大學大學院地球環境 研究科開放科目I 新究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科開放科目IV
					深見 正仁 (54) 〈平成27年4月〉				深見 正仁 (55) <平成27年4月>			深見 正仁 (56) 〈平成27年4月〉			深見 正仁 (57) <平成27年4月>
			兼任	講師	環境政策形成論	兼	任 1	講師	環境政策形成論	兼任	講師	上管大學院地球環境 研究學院的 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	兼任	詳 解解	上智大学大学院地球環境 研究科開放科目 1 上智大学大学院地球環境 研究科開放科目 1 上智大学大学院地球環境 研究科研查科目 1 新究科研查科目 1 新究科研查科目 1 新究科研查科目 2 研究科研查科目 2 研究科研查科目 2 研究科研查科目 2
		大坪國順 (63) <平成27年4月>			大 坪 國 順 (64) <平成27年4月>				大 坪 國 順 (65) <平成27年4月>			大坪國順 (66) <平成27年4月>			大 坪 國 順 (67) <平成27年4月>
兼任	講師	産業廃棄物処理 地球環境工学論 Enviromental Science and Technology 環境研究のフロンティア 移動現象と環境	兼任	講師	産業廃棄物処理 地球環工学論 Environmental Science and Technology 環境研究のフロンティア 移動現象と環境 環境学	兼	任		産業廃棄物処理 地球環境工学論 Environmental Science and Technology 環境研究のフロンティア 移動現象と環境 環境工学	兼任	講師	上實大學於地球環境 研支科目 I 上實大學大學的地球環境 研支科開放科目 I 上質大學大學大學 I 工學文學大學大學 I 工學究科開放學 工學文學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學	兼任	E 講師	上智大學大學院地球環境 研究科開放科目 1 上智大學大學院地球環境 研究科開放科目 1 上智大學大學院地球環境 研究科開放科目 1 大學大學院地球環境 研究科開放科目 1 上智大學大學院地球環境 研究科開放科目 2 研究科開放科目 3 研究科開放科目 3 研究科開放科目 3 研究科開放科目 3 研究科開放科目 3
		植弘 崇嗣 (50) <平成27年4月>			植弘 崇嗣 (50) <平成27年4月>				植弘 崇嗣 (51) <平成27年4月>			植弘 崇嗣 (52) <平成27年4月>			植弘 崇嗣 (53) <平成27年4月>
兼任	講師	化学物質と環境	兼任	講師	化学物質と環境	兼	任	講師	化学物質と環境	兼任	講師	上智大學大學院地球環境 研教科目工 上智大學大學院地球環境 研究科開放科目工 上等文學大學大學院地球環境 研究科開放科師目工 研究科開放學院加速環境 研究科開放學院和 上智究科研放學院 上智文學大學大學院地球環境 研究科開放學院 上智文學大學院地球環境 研究科開放學院 上智文學大學院地球環境	兼任	i 講師	上智大學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科開放科目工 研究科開放科目工 研究科開放科目工 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科開放科目工 研究科開放科目工
		鬼頭 秀一 (63) <平成27年4月>			鬼頭 秀一 (63) <平成27年4月>				鬼頭 秀一 (64) <平成27年4月>			鬼頭 秀一 (65) <平成27年4月>			鬼頭 秀一 (66) <平成27年4月>
兼任	講師	環境倫理	兼任	講師	環境倫理	兼	任	講師	環境倫理	兼任	講師	上管大學大學院地球環境 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 在學院 不是一個人工學院 在學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學院 不是一個人工學 不是一個人工學院 不是一個一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	兼任	三 講師	上智大學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地域環境 研究科學大學院地域環境 研究科學大學院地域環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境
		吉川 まみ (48) <平成27年4月>			吉川 まみ (48) <平成27年4月>				吉川 まみ (49) <平成27年4月>			吉川 まみ (50) <平成27年4月>			吉川 まみ (51) <平成27年4月>
兼任	講師	環境教育	兼任	講師	環境教育	兼	任	講師	環境教育	兼任	講師	上旬大學大學數地球環境 研究科關於科目 I 上旬大學大學數地球環境 研究科關於科目 I 上旬 I 研究科關於科目 I 可究科關於科目 I 可究科爾於科目 I 可究科爾於科目 I 可究科斯於科目 I	兼任	三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	上個大學大學院地球環境 研究科學大學院地球環境 上個大學大學院地域環境 研究科學大學院地域環境 研究科學大學院地域環境 研究科學大學院 研究科學教育 研究 研究科學教育 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名			職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
兼任	教授	まくどなるど・あん (45) 《平成27年4月> 環境史 Integrative Environmental Policy Marine Environmental Policy Global Environmental Policy Environmental History	兼任	教授	まくどなるど・あん (45) <平成27年4月> - 田城史 Integrative Environmental Policy Morine Environmental Policy Global Environmental Policy Environmental History	Ŕ	兼任		まくどなるど・あん (46) <平成27年4月> 環境史 Integrative Environmental Policy Marine Environmental Policy Global Environmental Global Environmental Folicy Environmental History	兼任	教授	まくどなるど・あん (47) 《平成27年4月》 「本文学大学院地球環境研究科研文制目 1 上等大学大学院地球環境研究科研放科目 1 上等大学大学院地球環境研究科研放科目 1 上等大学大学院地球環境研究科研放科目 2 世界大学大学院地球環境研究科研放科目 V 東京 (4 大学大学院地球環境研究科研放科目 V	兼任	: 教授	まくどなるど・あん (48) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究科園技術目 1 上哲グラン・大学院地球環境 研究科園技術目 1 上哲グラン・大学院地球環境 研究科園技術目 1 上哲グラン・大学院地球環境 研究科園技術目 1 工作 大学大学院地球環境 研究科園技術目 2 第7条件 1 第7条件 1
兼任	講師	条原 茂人 (63) <平成27年4月> カーボンマネジメント論	兼任	講師	条原 茂人 (63) <平成27年4月> カーボンマネジメント論	ŧ	兼任	講師	条原 茂人 (64) <平成27年4月> カーボンマネジメント論	兼任	講師	条原 茂人 (65) 《平成27年4月》 《平成27年4月》 上智大學大學陳始韓環境研究科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學科學	兼任	· 講師	衆原 茂人 (66) (66) (7年4月> (66) (7年4月> (7年4月> (7年4月) (7年4月4月) (7年4月4月4月) (7年4月4月) (7年4月4月4月) (7年4月4月) (7年4月4月4月) (7年4月4月4月) (7年4月4月4月4月) (7年4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月1月1月1月1日) (7年4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月1日) (7年4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月4月
兼任	講師	田中 大 (62) <平成27年4月> エネルギーと環境	兼任	講師	田中 大 (63) <平成27年4月> エネルギーと環境	ŧ	兼任	講師	田中 大 (64) <平成27年4月> エネルギーと環境	兼任	講師	田中 大 (65) 《平成27年4月》 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究科開放平局目 和	兼任	: 講師	田中 大(66) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究科研放科目1 年間 地球環境 研究科研放科目1 年間 地球環境 研究科研放科目1 年間 地球環境 研究科研放科目 1 年間 地球環境 研究科研放科目 1 年間 地球環境 研究科研放射 1 年間 1 年
兼任	講師	中原 秀樹 (64) <平成27年4月> 環境と消費	兼任	講師	中原 秀樹 (64) <平成27年4月> 環境と消費	Ŕ	兼任	講師	中原 秀樹 (65) <平成27年4月> 環境と消費	兼任	講師	中原 (66) 《平成27年4月》 上旬大學大學院地球環境研究科學學大學科學院和 環境研究學科學科學 1 日 球環境研究學科學學大學科學院和 軍環境研究學科學院的工學科學院學大學科學院地址 環境研究學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學院學大學科學的學學大學科學的學學學學學學學學學學	兼任	: 講師	中原 秀樹 (67) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究科制技科目 1 上省大学大学院地球環境 研究科制技科目 1 上省大学大学院组 理 地名英格兰 医电影 电影 电
兼任	講師	PUTHENKALAM John Joseph (45) 〈平成27年4月〉 Environment and Development in Developing Countries	兼任	講師	PUTHENKALAM John Joseph (45) 〈平成27年4月> Environment and Development in Developing Countries	₹	兼任		PUTHENKALAM John Joseph (46) 〈平成27年4月> Environment and Development in Developing Countries	兼任	講師	PUTHENKALAM John Joseph (47) 《平成27年4月》 上智大学大学院始球環境研究科育放科目 I 上智大學大学所始球環境研究科育区科研究科科目工上智大科学大学院始球環境研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研究科研	兼任	: 講師	PUTHENKALAM John Joseph (48) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境研究科研技术自11上省大学大学院地球環境研究科研技术自11上省大学大学院组球環境研究科研技术自11工工省大学大学院组球環境研究科研技术自11工工省大学大学院组球環境研究科研技术的技术。
兼任	講師	中島 惠理 (42) 《平成27年4月》 地球温暖化対策論 Sustainable Communit less/Projects and Policies	兼任	講師	中島 惠理 (42) 《平成27年4月》 地球温暖化対策論 Sustainable Communities/Projects and Policies	ŧ	兼任		中島 惠理 (43) 《平成27年4月》 地球温暖化対策論 Sustainable Communities/Projects and Policies	兼任	講師	中島 惠理 (44) 《平成27年4月> 上旬大学大学院地球環境 研究科開放科目 I 上旬大学大学院地球環境 研究科開放科目 I 上旬天明大学大学产生 I 正旬天明大学大学的 I 正旬天明大学大学大学的 I 正旬天明大学大学大学的 I 正旬天明大学大学大学的 I 上旬天明大学大学大学的 I 上旬天平大学的地球環境 研究科開放科目 V	兼任	· · · · ·	中島 恵理 (45) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究相關設計目1 上哲大学大学院地球環境 研究相關設計目1 上哲大学大学院地球環境 研究相關起来目目 上哲大学大学院地球環境 研究相關起来目形 上哲大学大学院地球環境 研究相關定計目 上哲大学大学院地球環境 研究相關定計目
			兼任	講師	奥田 敏統 (59) <平成27年4月> 生物と環境	*	修任	講師	奥田 敏統 (60) 〈平成27年4月〉 生物と環境	兼任	講師	奥田 敏統 (61) 《平成27年4月》 上智大學大學院地球環境研究科目1工學大學大學院地球環境研究科學大學大學的上學大學院學院學院科學大學大學的學大學院學院學院科學大學大學院地球環境研究科開發大學大學院地球環境研究科開發大學大學的地球環境研究科開放科目17工學大學大學的地球環境研究科開放科目17工學大學	兼任	計劃	奥田 敏統 (62) 《平成27年4月》 上智大学大学院地球環境 研究科爾波科目 1 上省大学大学院地球環境 研究科爾波科目 1 上省大学大学院地球環境 研究科爾波科目 1 上省大学大学院地球環境 研究科爾波科目 1 上等大学大学院地球環境 研究科爾波科目 1 上等大学大学院地球環境 研究科爾波科目 1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月
וית כס		担当授業科目名 藤井 良広	ווע כט		担当授業科目名 藤井 良広	וית כס		担当授業科目名 藤井 良広	וית כט		担当授業科目名 藤井 良広	וינל		担当授業科目名 藤井 良広
		(65) <平成27年4月>			(65) <平成27年4月>			(66) <平成27年4月>			(67) <平成27年4月>			(68) <平成27年4月>
兼任	教授	環境金融論 サステナビリティと金融 環境シャーナリズム論 GSR経営論	兼任	教授	環境金融論 サステナビリティと金融 環境シャーナリズム論 GSR経営論	兼任	教授	環境金融論 サステナビリティと金融 環境ジャーナリズム論 CSR経営論	兼任	教授	上等大学大学院地球環境 研究科開放书目 I 上等大学大学的地球環境 研究科開放科目I 工等大学大学的组 工等文件等大学的地球環境 研究科開放学院地球環境 研究科開放学院地球環境 研究科開放学院地球環境 研究科開放学工学院地球環境 研究科開放科目 V	兼任	教授	上等大学院地球環境 研究和關放和目 1 上等外科關放和目 1 上等外科學學學學學學學 上等外科學學學學學學學 上等外科學學學學學學 上等外科學學學學學學 上等外科學學學學學 上等外科學學學學學 上等外科學學學學學 上等外科學學學學學學學學學學 上等外科學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學
		黄 光偉 (36) <平成27年4月>			黄 光偉 (36) <平成27年4月>			黄 光偉 (37) <平成27年4月>			黄 光偉 (38) <平成27年4月>			黄 光偉 (39) <平成27年4月>
兼任	教授	環境計画・リスクマネジ メント論 Environmental Planning	兼任	教授	環境計画・リスクマネジメ ント論 Environmental Planning	兼任	教授	環境計画・リスクマネジ メント論 Environmental Planning	兼任	教授	上實大學大學院地球環境 研究製作與一個 研究製作。 研究製作學院地域環境 研究製作, 研究與一個 研究與一個 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究 研究	兼任	教授	上智大学大学院地球環境 研究科開放和目 I 上智大学大学院地球環境 研究科開放和目 I 上智大学大学院地球環境 研究科開放和目 I 上智先科爾放科目 I 上智先科爾放科目 I 上智先科爾放科目 I 上智先科爾放科 研究科爾放科 研究科爾放科 研究科爾放科 研究科爾放科 研究科爾放科 研究科爾放科 同學
		村井 秀樹 (50) <平成27年4月>			村井 秀樹 (50) <平成27年4月>			村井 秀樹 (51) <平成27年4月>			村井 秀樹 (52) <平成27年4月>			村井 秀樹 (53) <平成27年4月>
兼任	講師	Introduction to Environmental Accounting	兼任	講師	Introduction to Environmental Accounting	兼任	講師	Introduction to Environmental Accounting	兼任	講師	上管共享	兼任	講師	上第六學於地球環境 上第六學於學院地球環境 日第二學大學於學院地球環境 研究科團於學院地球環境 研究科團於學院地球環境 研究科學的學學的地球環境 研究科學的學學的學學的學學 上都完計學的學學 上都完計學的學學 上都完計學的學學 上都完計學 一個學學學學學 一個學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學
		磯 崎 博 司 (64) <平成27年4月>			磯 崎 博 司 (65) <平成27年4月>			磯 崎 博 司 (66) <平成27年4月>			磯 崎 博 司 (67) <平成27年4月>			磯 崎 博 司 (68) <平成27年4月>
兼任	講師	国際環境法! 国際環境法! 国際環境法! 環境法 I	兼任	講師	国際環境法[国際環境法] 環境法[環境法]	兼任	講師	国際環境法1 国際環境法1 環境法1 国際環境法	兼任	講師	上等大学大学院地球環境 研究科開放科目 I 地球環境 研究科開放科目 I 地球環境 研究科開水学院地球環境 研究科開水学院地球環境 研究科開水学院地球環境 研究科開水学院地球環境 研究科研水学院地球環境 研究科研水学院地球環境 研究科開放科目 V	兼任	講師	上等大学大学院地球環境等外科学大学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学科学大学科学院工工工会学大学学院工工工会学生科学学大学大学的工工会学和大学大会学大学大会学大学大会学大学大会学、大学大学、大学科学、大学科学、大学科学
					プテンカラム ジョンジョセフ (59) <平成27年4月>			プテンカラム ジョンジョセフ (60) <平成27年4月>			プテンカラム ジョンジョセフ (61) <平成27年4月>			プテンカラム ジョンジョセフ (62) <平成27年4月>
			兼任	准教授	途上国の環境と開発	兼任	准教授	途上国の環境と開発	兼任	准教授	上智大学大学院地球環境 研究科開放科目 I 球球環境 研究科開放科目 I 球球球球 研究科開放科目 I 球球球球球球 大智文科研放科目 I 军交科研放 I 军交 I 下 T 下 T 下 T 下 T 下 T 下 T 下 T 下 T 下 T 下	兼任	准教授	上等大学大学院地球環境 研究科学大学产品。 研究科学大学大学科学社会 是一个大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学
		Huang Guangwei (52) <平成27年4月>			Huang Guangwei (53) <平成27年4月>			Huang Guangwei (54) <平成27年4月>			Huang Guangwei (55) <平成27年4月>			Huang Guangwei (56) <平成27年4月>
兼任	准教授	Environmental Assessment	兼任	准教授	Environmental Assessment Blobal Environment Outlook	兼任	准教授	Environmental Assessment Global Environment Outlook	兼任	准教授	上管共享	兼任	准教授	上 實大學於地球環境 計算大學於學問 是有大學的 是有大學的 是有大學的 是有一個 是一個 是一個 是一個 是一個 是一個 是一個 是一個 是
		BEHERA Swadhin (50) <平成27年4月>			BEHERA Swadhin (50) <平成27年4月>			BEHERA Swadhin (51) <平成27年4月>			BEHERA Swadhin (52) <平成27年4月>			BEHERA Swadhin (53) <平成27年4月>
兼任	講師	Ocan and Environment	兼任	講師	Ocan and Environment	兼任	講師	Ocan and Environment	兼任	講師	上管大學放射目 I 研放射目 I 研文學科學教學 研究學科學大學科學 研究學科學大學科學 研究學科學大學科目 I 學院科學大學科目 I 國際學科學 工學學教士學院 工學學教士學院 工學學教士學院 工學學教士學院 工學學教士學 工學學教士學 工學學教士學 工學學教士學 工學學 工學學 工學學 工學學 工學學 工學學 工學學 工	兼任	講師	上實大學於地球環境 上實大學於學院地球環境 研究化學於學院地球環境 研究化學的學院 研究化學的學院 研究化學的學院 工學的學術學 研究化學 研究的學術學 研究的學術學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工學 工

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名	専作兼理を	∄ • ቿ	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 の別	. 84	战名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
						я	任	准教授	岡崎雄太 (39) 《平成28年4月》 郷地行政論 Environmental Administration Climate Change Policy	兼任	准教授	間 崎 雄 太 (40) 《平成28年4月》 《平成28年4月》 上管大學於於地球環境 研究科學大學的地域環境 研究科學大學的地域環境 研究科學大學相目 上管大學的數學相對 研究科學大學相對 研究科學大學科學大學和 研究科學大學科學大學科學大學科學大學和 研究科學大學科學大學科學大學科學大學科學大學和 研究科學大學科學大學科學大學科學大學和 研究科學的大學科學	兼(數	間 6 雄 太 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)
兼任	教授	平尾桂子 (56) 《平成28年4月》	兼任	教授	平尾桂子 (56) <平成28年4月> 環境社会学	兼	E 任	教授	平尾柱子 (57) <平成28年4月> 環境社会学 環境研究のための統計学 ジェンダーと環境	兼任	教授	平尾桂子(58) 《平成28年4月》 上旬大学大学院始始環境 使突和振和目 1、上旬大学大学院始始 1 上旬大学大学院始始 環境 中突外侧放射目 1 上旬大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学	兼任	壬 教	女授	平尾柱子(59) 《平成28年4月》 《平成28年4月》 《平成28年4月》 上管大学大学院地球環境符次科學科学大学院地球環境分科學科学科的學科自由, 中国教育人科學科学科学科自由, 中国教育人科學科学科自由, 中国教育人科學科学科自由, 中国教育人科学科学科自由, 中国教育人科学科学科自由, 中国教育人科学科学科自由, 中国教育人科学科学科自由, 中国教育人科学科学科自由, 中国教育人科学教科自由, 中国教育人科学教育人和 中国教育人和 中国教
						я	任	准教授	田中 書成 (53) 《平成28年4月》 Ecology and the Environment Chemical Substances and the Environment	兼任	准教授	田中 嘉成 (54) 《平成28年4月》 《平成28年4月》 上管大學大学院地球環境 伊安科斯拉科斯目 1上管大學大學的地球環境 伊安科斯拉特 1 上管大學大學大學的地球環境 伊安科斯拉特 1 上管大學大學大學的地球環境 伊安科學大學大學的 1 中央科學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大學大	**1		教授	田中 嘉成 (55) 《平成28年4月》 《平成28年4月》 《中成28年4月》 上安大馬拉特陸山東東東京大學大學的 1 上研究科学的 1 上标识的

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選车齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

_	【平成27年度】
	該当なし
	【平成28年度】
	該当なし
l	
	【平成29年度】
	該当なし
	【平成30年度】
ĺ	該当なし

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ <mark>窓可で設置された学部等の享任敬員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略 となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から 平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

(2) ① 以	□至十上のの女子 [17X XX
完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員数

	設置	· 時 の	計 画			現在(報	告書提出	時)の状況		現在(報告書提出時)	の完成年度時の	計画
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授 講	師 助教	計 (C)
4	4	0	0	8	6	2	0	0	8	6	2 0		8
(4)	(4)	(0)	(0)	(8)						[2][△2] [0	[0]	[0]
研究指導教 数	対員 研究指 教員		講義のみ担当 の教員数		研究指導教 数	対員 研究指 教員		講義のみ担当 の教員数		研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	カ 講義のみ担当 の教員数	
7		1	8		6	,	,	8		6	2	8] /
(6)	(1	2)	(8)		Ů					[Δ1]	[1]	[0]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受害済みであり、 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名減の場合: Δ 1)

(2) - ③ 年齢構成

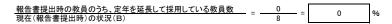
	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入

 - し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号.	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況	就任	£辞退(未就	任)の理由	
				=4 112 4- 1								
				該当なし								
	_											
	_											
				合計	(D)				後任補充状況	の集計(E)		
	就	任る	を辞	退した教員数	担当科目数の合語	† (a) + (b) + (c)	①の合計	数(a)	②の合計	ト数 (b)	③の合計	数 (c)
					必修	科目	必修		科目 必修	科目	必修	科目
					選択	科目	選択		選択	科目	選択	科目
				Α	自由	科目	自由		科目 自由	科目	自由	科目
					計	科目	計		科目計	科目	計	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	号職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況		辞任等の	理由	
			該当なし								
			合計	(F)			i	後任補充状況	の集計(G))	
	i	辞任	した教員数	担当科目数の合詞	† (a) + (b) + (c)	①の合計	ł数 (a)	②の合計	l数 (b)	③の合計	l数 (c)
				必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
				選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
			人	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
				計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				後任初	#充状況の集	計(E)+	(G)	
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						②の合計	十数(b)	③の合言	十数(c)
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
0	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = -#REF! % #REF!

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況		辞任等の	理由	
				該当なし								
<u> </u>												
				2	· 計				华 红斌	犬況の集計		
		7.		•	1	1 () ()	@ = 4 =	LML ()			@ a A =	McL ()
		莳	そ任 し	した教員数	担当科目数の合語	† (a) + (b) + (c)	①の合計	ł数(a)	②の合計	†数(b)	③の合計	·数(c)
					必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
					選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
				人	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
					計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留意事項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年6月)	食科工称ルよがの存となとた示る 食科の副導が見き教これで、生形実りをめすこれで、生形実りをめすこれで一、食産けのや変を一」りな望いに一食産けのや変を一」りな望いに主員る数定念のまれいで、大人のとや、ギ構国すて分再。 ス、人のとや、ギ構国すて分再。 ス、員研て数運た努力を食のエすす「一想際るい野考 テ3及究いか用めめて食のエすす「一想際るい野考 ス、人のとや、ギ構国すて分再。 ス、員研て数運た努力を食のエすす「一想際るい野考 ス、人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとや、ギス・人のとので、人のとや、ギス・人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のとので、人のというには、大きないので、人のというには、大きないので、人のというには、大きないが、ないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、まないが、ためいが、大きないが、大きないが、ためいが、ためいが、ためいが、ためいが、ためいが、ためいが、ためいが、ため	留意事項	本学料巻を題すギと にるたドプにを衛本形をの置 本りいでと養のも 織達考えいる とく理に名一こた受こっミロよ理序専成達教しこ専一てあし成教継こに成え、る事と、く理に名一こた受こっミロよ理序専成達教しこ専一であり、横点28すたいるいりと、く理に名一こた受こっミロよ理でで複すをい教のィ績、構点28すたいるいりと、では、をの究的れと りとれけ、要目う 視的攻し て出と員型工設い教目可を努め、食取関極にルし 狭もにるデ項的周 野理以て は課にこ組入学置る員的能踏め、食取関極にルし 狭ちにるデ項的周 野理以て は課にこ組入学置る員的能踏め、り係課表 た 義あ当アィ等等知 の解外配 、程おろ織材系後。組をとまて本 り係課表	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)					
設置計画履行状況調 査 時					
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)					

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、報告年度を(<u>)</u>書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻(一貫制博士課程)>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

グローバル教育院で起案、全学「教育・学生生活委員会」で審議して実施を決定[別添資料1]

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - 毎月1回
- c 委員会の審議事項等 FDの目的、内容、実施方法について
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - 新任教員に対する自校理解、授業方法の研修。
 - ・英語で講義を行う教員向けの研修
 - ・「アクティブ・ラーニング」に関する説明会。
 - ・「障害者差別解消法」の解説と障害のある学生に対する支援。
 - ・英語化授業における教育効果を考えるシンポジウム。
 - b 実施方法
 - ・全学の教員対象の内容の場合は、教授会の開催前後の時間で実施。
 - ・特定の教員対象の研修については、該当教員を招集して実施。
 - c 開催状況 (教員の参加状況含む)
 - ・教授会の開催前後の時間で実施した場合は、全学のほとんどの教員が聴講し、周知できた。
 - ・特定の教員対象の研修については、グループワーク等の参加型研修を行い、参加者からは好評を得た。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・今後も引き続き積極的にFDを推進していく。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

前学期、後学期の2回実施している。(一部、4学期制に対応している)

b 教員や学生への公開状況,方法等

集計した結果については、担当科目の教員にフィードバックを行い、必要に応じて個別対応を行っている。 学生に対しては全体の集計結果をホームページで公開している。

- ※「大学教育センター」は平成30年4月より「グローバル教育院」へ発展改組した。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 計画通りに実施している。また、今後も設置の趣旨及び目的の達成に向けて教育研究活動を実施する こととしている。
- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・ 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書〔中期目標・中期計画の進行状況等に係る自己点検・ 評価書〕を、平成31年11月に公表予定。
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開(予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成32年度に評価機関(大学改革支援・学位授与機構)の機関別認証評価を受ける予定。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表(予定)の有無 ((有) ・ 無)
 - b 公表 (予定) 有の場合の公表 (予定) 時期 (平成30年 8月)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。